

S	環境デザイン概論 [建築] スターター	科目コード： 72033
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン概論 [建築] (001K スターター) 開催日程：2019年5月18日（土）～ 2019年5月19日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：なし 環境デザイン概論 [建築] (002T スターター) 開催日程：2019年5月18日（土）～ 2019年5月19日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：なし	
担当者	（京都）岸川謙介、藤田慶、永井孔美子、谷帆奈美 他、（東京）小杉幸子、望月公紀、鈴木丈晴、岩寄慶子 他	

科目概要と到達目標

建築デザインコースの専門演習テキスト科目の進め方について解説と演習を行うガイダンス授業。
課題に対する理解と卒業を目指す決意を得ることを目標とする。
学生生活のスタートラインとなる授業ですから、是非とも受講して欲しい授業です。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、テキスト科目の提出へ結びつけられるように授業の復習をするよう努力しましょう。取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』『図形ドリル』『建築ドリル』『建築・設計・製図』
参考文献・URL	建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ 【動画教材】airUマイページ > カリキュラム一覧 > 環境デザイン [建築] II-2 平面表現 > 事前課題 > 2. 図面の概念を知る / 3. 道具を知る / 4. 線の描き

参考文献・URL	方を知る 【動画教材】airUマイページ >カリキュラム一覧>環境デザイン〔建築〕Ⅰ-3 立体表現 > 事前課題 >2. 道具を知る／ 3. 材料を知る／4. キューブのつくり方を知る（映像教材）
----------	--

課題

●課題名

「見てみよう、調べてみよう、描いてみよう」

●内容

この課題の意図は、建築デザインコースでの学び方を学ぶことにある。1年次テキスト科目のガイダンスや制作体験を行い、卒業までの学習のすすめ方や各自の履修計画の確認を行う。事前課題に取り組み授業に備えること。また、建築を大学で学ぶ目的や建築の魅力に関する講義を行う。

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 課題の進め方に関するレクチャー

「ドリル教材に学ぶ」「名建築に倣う1」「名建築を語る」

●2日目

1～5講時 「名建築を語る」「巨匠模型」

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

- 1 鉛筆・消しゴム
- 2 三角スケール
- 3 カッター（小）とカッター替刃（小）30度
- 4 ステンレス製のさし（小／15cm）（中／30cm）
- 5 スコヤ（L型定規）
- 6 巻尺（コンベックス）
- 7 スチのり
- 8 ドラフティングテープ
- 9 スチレンボード（A3サイズ2mm厚）1枚 *1) 参照
- 10 『建築デザインコースガイド』
- 11 「入学許可証・卒業要件通知」、「学生証」
- 12 事前課題「履修計画表」
- 13 1年次TW科目4科目のシラバスおよび課題資料を出力したもの *2) 参照

*1) A4サイズ（以上）×2枚でも可。「ハレパネ」「ピタパネ」とは異なります。

*2) 「デザイン基礎1、2（建築）」「環境デザイン演習〔建築〕Ⅰ-1、Ⅰ-2」の4科目。

※持参用具については、『コースガイド』p.30「制作に必要な道具」を参照

●各自可能な限り持参

1. デジタルカメラ（スマートフォンのカメラでも可）

2. 『学習ガイド』 [1日目]

●コース貸出・支給

- 1 カッティングマット (A2サイズ)
- 2 スプレーのり

●その他

- ・作品制作のためのコピーなどは各自で行ってください。
- ・認定された単位は卒業要件に含めることができますが、必修科目ではありません。

注意事項

- ・スクーリングは事前申込制です。『学習ガイド』p.54を参照のうえ期日までに所定の手続きをしてください。
- ・持参物のうちスチのり、ドラフティングテープ、スチレンボード等については、スクーリング当日（東京は初日のみ）に大学内の購買部でも購入可能ですが、在庫には限りがあるためできるだけ事前に入手して持参してください。

S	環境デザイン [建築] I-1 フィールドワーク 科目コード： 72061
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] I-1(111K フィールドワーク) 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：40 環境デザイン [建築] I-1(112T フィールドワーク) 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40 環境デザイン [建築] I-1(113K フィールドワーク) 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：大阪■、受講料： ¥16,000、定員：40 環境デザイン [建築] I-1(114T フィールドワーク) 開催日程：2019年9月28日（土）～ 2019年9月29日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40 環境デザイン [建築] I-1(115K フィールドワーク) 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：京都・奈良■、受講料： ¥16,000、定員：40 環境デザイン [建築] I-1(116T フィールドワーク) 開催日程：2019年10月19日（土）～ 2019年10月20日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40
担当者	（京都） 内田康博、藤田慶、萬野光雄、（東京）坪井善昭、白井亮、佐々木龍郎、志村直愛、小杉幸子*

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

国内の名作建築を題材に、実際に建築空間を訪れてその様子や魅力を考察する。建築、空間デザインの前提条件としてそれらが存在する土地の文脈を読み解き、地域環境と建築計画の関わりを学ぶ。また、2次元で表された建築図面を読み解き、その3次元空間を実際に訪れた印象を確認する。建築設計の基礎手法を体得し、その基本理念に触れることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力
5. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返り「環境デザイン演習〔建築〕Ⅰ-1（名建築を語る）」の課題のようにシートにまとめ授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『建築・設計・製図』、『第3版コンパクト建築設計資料集成』
参考文献・URL	建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「空間と環境」

●内容

この課題の意図は、フィールドワークを通じて建築や都市の見方を学ぶことにある。魅力ある建築空間を設計するためには、まず自分自身で建築の魅力を体験しその魅力を分析することが必要である。この課題では、発見したことを「まなぶ（まねる）」ことから建築デザインの学習をはじめめる。
事前課題の項にあげている（A）～（F）の6種類（6日程）のテーマからひとつを選択して受講する。可能であれば普段なかなか訪れることができない場所を選ぶとよいだろう。

●最終成果物

プレゼンテーションシート等

授業計画

詳細については「事前課題」のタブ【2】～【7】から受講するスクーリング日程のページを確認してください。別途入館料などの費用がかかる場合があります。

（A）京都 「111K 京町家と京都近代建築めぐり」 担当：内田康博

●自宅学習 1～5講時 事前課題

●1日目 1～5講時 瓜生山キャンパス集合・現地解散

フィールドワーク先：「若王子アトリエ（横内敏人設計）」、吉田家住宅など

四条新町室町界限

●2日目 1～5講時 四条烏丸駅付近集合・現地解散

フィールドワーク先：旧日本銀行京都支店など三条寺町界限

（B）東京「112T 東京近現代建築めぐり」 担当：佐々木龍郎

●自宅学習 1～5講時 事前課題

●1日目 1～5講時 外苑キャンパス集合・解散

フィールドワーク先：皇居周縁

●2日目 1～5講時 外苑キャンパス集合・解散

(C) 京都「113K 京都・大阪近現代建築めぐり」 担当：藤田慶

- 自宅学習 1～5講時 事前課題
- 1日目 1～5講時 大阪サテライトキャンパス集合、現地解散
フィールドワーク先：日本橋の家、NEXT21など
- 2日目 1～5講時 現地集合・解散
フィールドワーク先：聴竹居、松彦建設工業京都サロンなど

(D) 東京「114T 東京建築構造めぐり」 担当：坪井善昭・白井亮

- 自宅学習 1～5講時 事前課題
- 1日目 1～5講時 外苑キャンパス集合・解散
フィールドワーク先：東京カテドラル
- 2日目 1～5講時 外苑キャンパス集合・解散
フィールドワーク先：西新宿超高層ビル群ー東京都庁およびNSCビルを中心
に一

(E) 京都「115K 京都・奈良古建築めぐり」 担当：萬野光雄

- 自宅学習 1～5講時 事前課題
- 1日目 1～5講時 京都駅付近集合・解散
フィールドワーク先：東寺、長谷川家住宅など
- 2日目 1～5講時 近鉄奈良駅付近集合・解散
フィールドワーク先：東大寺、浄瑠璃寺など

(F) 東京「116T 東京古建築・近現代住宅めぐり」 担当：志村直愛

- 自宅学習 1～5講時 事前課題
 - 1日目 1～5講時 外苑キャンパス集合・現地解散
フィールドワーク先：上野公園近辺
 - 2日目 1～5講時 江戸東京たてもの園集合・外苑キャンパス解散
フィールドワーク先：江戸東京たてもの園
-

受講にあたって

- 持参物
- 各自必ず持参
 1. スケッチブック (A5～A4サイズ程度)
 2. スケッチするための筆記用具
 3. 巻尺 (コンベックス)
 4. デジタルカメラ
 5. シラバス本科目ページを出力したもの
- 各自可能な限り持参
 1. 保険証
 2. 雨具・帽子・歩きやすい靴・虫除け [適宜]
 3. バインダー (A4サイズ程度)

※その他各日程で指定されているものがあれば持参すること。

各日程の詳細は事前課題のタブ【2】～【7】より受講する日程のページを確認してください。

●諸経費

「事前課題」のタブ【2】～【7】より受講するスクーリング日程のページを確認してください。

注意事項

- ・スケジュールと見学先は、先方の都合で変更になる場合があります。

S	環境デザイン [建築] I-2 ドローイング 科目コード： 72062
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] I-2(121K ドローイング) 開催日程：2019年7月6日（土）～ 2019年7月7日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：40 環境デザイン [建築] I-2(122K ドローイング) 開催日程：2019年7月27日（土）～ 2019年7月28日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] I-2(123T ドローイング) 開催日程：2019年8月3日（土）～ 2019年8月4日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] I-2(124T ドローイング) 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] I-2(125K ドローイング) 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] I-2(126T ドローイング) 開催日程：2020年1月11日（土）～ 2020年1月12日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25
担当者	（京都）長澤浩二、中島貴光、塔本研作、小野暁彦、（東京）志村直愛、岡田雅人、小杉宰子*

科目概要と到達目標

日常生活の周囲にある建築空間を題材に、建築設計の基礎を学ぶ。
ここでは3次元空間を2次元平面に変換する際に必要となる技法に着目し、空間とそれらを構成する要素を観察してフリーハンドで描写する。
空間の成り立ちや構造を発見し理解すると共に、日常空間の寸法感覚と描写のための基礎知識を身につけることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力
5. プレゼンテーションの力

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、資料としてまとめ授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現）
参考文献・URL	建築デザインコースサイト http://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「次元変換の試み」

●内容

この課題の意図は、手描きのドローイングを通じて物を観察し分析する目を養い、描くことの楽しさを学ぶことにある。

体験した空間の様子や頭にうかんだ構想を手早く描き留めることはとても重要である。この課題は手を使って自由自在に表現するための最初のステップである。表現に対する苦手意識を取り除きリラックスした気持ちでスケッチを重ねることができるよう練習を行う。3次元である建築空間を2次元で表現する場合に使用する二つの描画法「パースペクティブ（透視図）」と「アクソノメトリック図（軸測投影図）」の基礎を学び、屋内外のフリースケッチに取り組むとともに、裸婦のクロッキーにも挑戦する。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 最終成果物はスクーリング当日に描くクロッキーブック。

授業計画

[京都会場]

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 レクチャー・事前課題の確認
- 2講時 静物スケッチ
- 3講時 ノードクロッキー
- 4講時 ノードクロッキー
- 5講時 ノードクロッキー

●2日目

- 1講時 （パース）レクチャー

- 2講時 フリースケッチ
 - 3講時 フリースケッチ
 - 4講時 フリースケッチ
 - 5講時 ピンナップ講評
-

[東京会場]

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 レクチャー・事前課題の確認
- 2講時 (パース) レクチャー
- 3講時 静物スケッチ
- 4講時 静物スケッチ
- 5講時 静物スケッチ

●2日目

- 1講時 フリースケッチ
- 2講時 フリースケッチ
- 3講時 ヌードクロッキー
- 4講時 ヌードクロッキー
- 5講時 ピンナップ講評

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. 鉛筆 (4B, 3B, 2B, B, HB, H, 2H程度)
3. 練り消しゴム
4. 三角定規30度、45度 (30cm)
5. カッター (大) ・ (小) ※鉛筆を削るため
6. ドラフティングテープ
7. スケッチブック (A5～A4サイズ以上) *1) 参照
8. クロッキーブック (A2サイズ以上) *2) 参照
9. 軟質のデッサン用具 *3) 参照
10. 定着液 (スプレータイプ)
11. 本科目のシラバスページを出力したもの

●各自可能な限り持参

1. 製図用シャープペンシル (0.3、0.5、0.7、0.9)
2. 製図用消しゴム・鉛筆削り
3. いろ紙 (B3またはA2以上) *4) 参照

●コース貸出

1. イーゼル・カルトン

*1) 屋外でのフリースケッチに使用。事前課題でも使用。

*2) 静物スケッチ・ヌードクロッキー時に使用。レモン画翠・東美で購入する場合は「エスキースブック (木炭紙サイズ)」が、ADストアで購入する場合は「エスキースブック」が該当商品となります。画

用紙や色画用紙、模造紙のうち自分の好きな用紙30枚以上（数種類可）をバラで持参しても可。

*3) ノードクロッキー時に使用。木炭・パステル・クレヨンなどの中から使ってみたい画材を自由に持参してください。1色～数色を使用する方が多い。

*4) ノードクロッキー時に使用。 3色程度、各1枚が望ましい。（紙の種類：ラシャ紙、画用紙など。
色：クリーム色系・赤からピンク系、濃い青や茶系など）

●購入案内

使用画材は以下画材店の教材購入ページからセット購入することができます。

ADストア <http://www.adstore-kuad.co.jp/correspondence/index.html>

レモン画翠 <https://www.lemon.co.jp/student/>

東美 <http://e-tobi.co.jp/ueno-kuad/>

※【参考】紙のサイズ http://www.gazaihanbai.jp/user_data/paper-cut/01.jpg

S	環境デザイン [建築] I-3 立体表現	科目コード： 72063
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] I-3(131K 立体表現) 開催日程：2019年5月25日（土）～ 2019年5月26日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：30 環境デザイン [建築] I-3(132T 立体表現) 開催日程：2019年6月8日（土）～ 2019年6月9日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：60 環境デザイン [建築] I-3(133K 立体表現) 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：60 環境デザイン [建築] I-3(134T 立体表現) 開催日程：2019年6月22日（土）～ 2019年6月23日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：60 環境デザイン [建築] I-3(135K 立体表現) 開催日程：2019年11月2日（土）～ 2019年11月3日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] I-3(136T 立体表現) 開催日程：2019年12月7日（土）～ 2019年12月8日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25	
担当者	（京都）高松樹、松本和也、高栄智史、永井孔美子、（東京）六角美瑠、市川竜吾、本瀬あゆみ、小杉宰子*	

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

ここでは2次元の建築図面を3次元空間に変換する際に必要となる技法に着目し、建築図面から建築模型の作成を行い、建築設計に必要な立体表現の技法を身につける。

模型制作の基礎技法の習得、建築空間と環境や人との関係性を検証する手法を学び、設計理念を理解することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力
5. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現）
参考文献・URL	『ラクラク建築模型マニュアル』エクスナレッジ 『ルイス・カーンの全住宅 1940-1974』TOTO出版 『a+u 2009年2月号ルイス・カーンの住宅』エーアンドユー 『やさしく学ぶ建築製図』エクスナレッジ 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名 「模型基礎」

●内容

この課題の意図は、建築模型についての基本的な技術・表現を身につけることにある。
模型は建築設計においてとても重要な意義を持っている。わたしたちは構想した空間を図面・模型・CGなどにより様々な検証をするが、その中でも模型は建築や空間のアイデアを模索する際に最も理解しやすいものと位置付けられている。なぜならば、模型を覗き込むことで、その空間で起こるであろう出来事を想像しやすいからである。つまり、模型は建築設計において、考えてスタディするための道具でもある。

この課題では、20世紀を代表するアメリカ人建築家ルイス・カーン（Louis I. Kahn／1901～1974）の代表的な住宅作品である「フィッシャー邸（Norman Fisher House／Philadelphia, Pennsylvania, USA／1960）」を取り上げる。縮尺1/200の模型では、建物だけでなく周囲の地形などと一体的に描かれた図面を読み取り、周辺環境と建物を簡便かつ美しく表現する抽象的な方法を学ぶ。縮尺1/100の模型では、内部空間を検証するための具体的な方法を学ぶ。2種類の模型を作成することで、模型表現のバリエーションとその目的を理解し、さらにルイス・カーンの建築作品に対する理解を深める。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を丁寧に美しく制作する。
 - a. 模型（S=1/200とS=1/100）
 - b. 模型箱

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 制作道具の解説、制作環境づくり、事前課題の確認
- 2講時 制作 (1/200)
- 3講時 制作 (模型箱)
- 4講時 制作 (1/100)
- 5講時 制作 (1/100)

●2日目

- 1講時 建築作品についてレクチャー
- 2講時 制作 (1/100)
- 3講時 制作 (1/100)
- 4講時 制作 (1/100)
- 5講時 ピンナップ講評

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. 製図用シャープペンシル (0.3~0.9mm)
3. 製図用消しゴム
4. 色鉛筆、マーカー等の色付ペン (6色以上)
5. 三角スケール (30cm)
6. カッター (小) *1) 参照
7. カッター替刃 (小) 30度 *1) 参照
8. 刃折器
9. ステンレス製のものさし (小/15cm) ・ (中/30cm) ・ (大/60cm)
10. スコヤ (L型定規) 15cm *2) 参照
11. スチのり (小)
12. 木工用ボンド (小)
13. マスキングテープ ※仮止め用に使用
14. 両面テープ (5mm) ・ (50mm) *3) 参照
15. ピンセット
16. スノーマット (B3) 1枚
17. スチレンボード (3mm厚/B3) 4枚
18. スチレンペーパー (1mm厚/B3) 1枚
19. バルサ板 (1mm厚/幅8cm×長さ60cm相当) 6枚
20. プラ板もしくは塩ビ板 (透明/0.4mm厚/B4) 1枚 (事前課題の残りでも可)
21. 電卓
22. 布ガムテープ *4) 参照
23. デジタルカメラ (スマートフォンのカメラでも可)
24. 本科目のシラバスページを出力したもの

●事前課題で使用する材料

1. スチレンボード (3mm厚/B3) 1枚
2. スチレンペーパー (2mm厚/B3) 15枚
3. プラ板もしくは塩ビ板 (透明/0.4mm厚/B4) 1枚
4. ダンボール (5mm厚シングル/A2版 600×450mm) 4枚 *A2ぴったりの場合は6枚 (←枚数訂正 20190626) 必要。

※材料は必要最低限なので心配な場合は余分に購入してください。

●コース貸出

1. カッティングマット (A2サイズ)
2. スプレーのり
3. スプレーのりクリーナー
4. ヒートカッター

●コース一括購入で支給

1. 木製パネル (A3サイズ) 1枚
2. 発泡スチロール (10cm×10cm×10cm)

- *1) カッター (小)、カッター替刃 (小) 30度はデザインナイフと間違えないように注意。
- *2) スコヤ (L型定規) は差矩 (さしがね) と間違えないように 注意。
- *3) 主に、スチレンペーパーとバルサ材を貼り合わせるのに使用するので「一般用」のものを準備。
「厚手」「布」「強力防水」用は使用できないので、間違えないように注意。
- *4) 模型持ち帰り用の箱作成のために使用。紙ガムテープと間違えないように注意。

※スクーリング当日の使用画材、事前課題の使用画材は以下の画材店からも購入可能です。「立体表現」のセット販売もあります。詳細は各店のサイトをご覧ください。

ADストア <http://www.adstore-kuad.co.jp/correspondence/index.html>

レモン画翠 <https://www.lemon.co.jp/student/>

東美 <http://e-tobi.co.jp/ueno-kuad/>

「事前課題+当日持参物」のセットを選択して購入する場合は、事前課題制作のための時間も考え、早めに申し込んでください。

特に「東美」は東京外苑キャンパスで直接受取、現金精算のみのため、事前にairUキャンパス>リンク>東美>営業日カレンダーを確認し、ご自身で受け取りが可能な日を「受取希望日」欄に記入してください。事前課題用材料を申込、スクーリング初日にしか受け取れなかった、ということのないようご注意ください。

●諸経費

「コース一括購入で支給」は後日引き落としとなります。材料の合計金額は1,000円程度の予定です (2018年度実績)。

●その他

- ・スクーリング時に模型作品を撮影できるよう仮設の撮影場所を設置します。
- ・スクーリングで制作した作品を持ち帰るための箱は制作しますが、袋や梱包材などは各自用意してください。
- ・持参物の材料および道具については、大学での貸し出しは行っていません。また、大学内の購買部で購入可能なものもありますが、在庫には限りがあるため、授業当日購入できない場合があります。できる限り事前に入手し持参、または予約購入してください。

S	環境デザイン [建築] II-1 空間表現1	科目コード： 72064
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※「環境デザイン [建築] I-3 (立体表現)」「環境デザイン [建築] II-2 (平面表現)」を受講済みであることが望ましい。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] II-1(141T 空間表現1) 開催日程：2019年7月6日（土）～ 2019年7月7日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] II-1(142K 空間表現1) 開催日程：2019年7月20日（土）～ 2019年7月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [建築] II-1(143K 空間表現1) 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] II-1(144T 空間表現1) 開催日程：2019年8月31日（土）～ 2019年9月1日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] II-1(145K 空間表現1) 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] II-1(146T 空間表現1) 開催日程：2020年2月1日（土）～ 2020年2月2日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25	
担当者	（京都）池井健、門脇哲也、高栄智史、（東京）八木惣一郎、高濱史子、望月公紀、小杉宰子*	

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは言葉から想起されるイメージを空間化することに取り組み、空間と周囲の環境と人との関係を捉えた設計手法を学ぶ。

言葉から空間構成、そして建築設計へと発展させるプロセスについて理解し、小規模建築としてまとめることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力
5. プレゼンテーションの力

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『建築・設計・製図』、『コンパクト建築設計資料集成』
参考文献・URL	『ラクラク建築模型マニュアル』エクスナレッジ 『やさしく学ぶ建築製図』エクスナレッジ 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「言葉と空間」

●内容

この課題の意図は、ひとつの言葉からイメージする抽象的な空間を、実際に人が入る具体的な空間に置き換えることを通して自由な空間の作り方を学ぶことにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

森の中で1人で過ごす数学者のための週末住宅を設計する。彼女の要望は「森の中で静かに研究できる場所が欲しいのです。私は立方体や直方体、四角錐といった単純な幾何学が好きなのですが、そのような単純な幾何学を用いて、1日を通して朝昼晩と考える場所に変化が生まれる場所を作って欲しいのです」ということである。

ここでは、彼女の要望を受けて、建築家として単純な幾何学を用いて、シンプルな幾何学から多様な体験を生む森の中の別荘を設計し、模型表現としてまとめる。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を丁寧に美しく制作する。
 - a. 最終模型(S:1/50)
 - b. 模型写真

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 レクチャー・事前課題の確認
2～3講時 構想エスキース
4～5講時 エスキース、制作

●2日目

1～4講時 制作

5講時 ピンナップ講評

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. 製図用シャープペンシル(0.3～0.9)
3. 製図用消しゴム
4. 三角スケール(30cm)
5. カッター(小)*1)参照
6. カッター替刃(小)30 度 *1)参照
7. 刃折器
8. ステンレス製のさし(小/15cm)・(中/30cm)・(大/60cm)
9. スコヤ(L 型定規)15cm *2)参照
10. スチのり(小)
11. 木工用ボンド(小)
12. マスキングテープ ※仮止め用に使用
13. ピンセット
14. ケント紙(A3)5枚
15. スチレンボード(3mm 厚/B3)4枚
16. 電卓
17. デジタルカメラ *3)参照
18. 本科目のシラバスページを出力したもの

●事前課題で使用する材料

1. ケント紙(A3)2枚

※材料は必要最低限なので心配な場合は余分に購入してください。

●可能な限り持参

1. ノート型パソコン (パソコンACアダプタ、マウス等の周辺機器含む)
- ※撮影した写真をパソコンで確認するために持参することが望ましい。

●コース貸出

1. カッティングマット(A2サイズ)
2. スプレーのり
3. スプレーのリクリーナー
4. ヒートカッター
5. プリンタ・ノートPC (プリンタ専用)

*1) カッター (小)、カッター替刃 (小) 30度はデザインナイフと間違えないように注意。

*2) スコヤ (L型定規) は差矩 (さしがね) と間違えないように 注意。

*3) スマートフォンなどでも良いが、パソコンに接続して写真が出力できるようにしておくこと。

※スクーリング当日の使用画材、事前課題の使用画材は以下の画材店からも購入可能です。詳細は各店のサイトをご覧ください。

ADストア <http://www.adstore-kuad.co.jp/correspondence/index.html>

レモン画翠 <https://www.lemon.co.jp/student/>

●その他

- ・スクーリング時に模型作品を撮影できるよう仮設の撮影場所を設置します。
- ・スクーリングで制作した作品を持ち帰るための箱は制作しません。袋や梱包材などは各自用意してください。
- ・持参物の材料および道具については、大学での貸し出しは行っていません。また、大学内の購買部で購入可能なものもありますが、在庫には限りがあるため、授業当日購入できない場合があります。できる限り事前に入手し持参、または予約購入してください。

S	環境デザイン [建築] II-2 平面表現	科目コード： 72065
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] II-2(151T 平面表現) 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：60 環境デザイン [建築] II-2(152K 平面表現) 開催日程：2019年6月8日（土）～ 2019年6月9日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [建築] II-2(153K 平面表現) 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：60 環境デザイン [建築] II-2(154T 平面表現) 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：60 環境デザイン [建築] II-2(155K 平面表現) 開催日程：2019年10月5日（土）～ 2019年10月6日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] II-2(156T 平面表現) 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25	
担当者	（京都）松田安代、西川博美、（東京）岡田雅人、野上恵子、小杉宰子*	

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

ここでは手描き製図で建築図面のトレースを行うことで設計製図の基礎知識と図面表現の手法を学ぶ。設計製図の基礎技法の習得、建築空間と環境や人との関係性を検証する手法を学び、設計理念を理解することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現） 『建築・設計・製図』
参考文献・URL	『ルイス・カーンの全住宅1940－1974』TOTO出版 『a+u 2009年2月号ルイス・カーンの住宅』エーアンドユー 『やさしく学ぶ建築製図』エクスナレッジ 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「美しいドローイング」

●内容

この課題の意図は、建築空間を表現力豊かに語る手段として、図面ドローイングの基本的な技術を身につけることにある。

建築図面にはさまざまなバリエーションがある。詳細図や施工図などの実務的な目的のための図面とは別に、建築デザインを巡るさまざまな想いを表現力豊かに語る手段としての図面ドローイングは、われわれにとってとても重要な表現手段である。

この課題では、20世紀を代表するアメリカ人建築家ルイス・カーン（Louis I. Kahn／1901～1974）の代表作である「フィッシャー邸（Norman Fisher House/Philadelphia, Pennsylvania, USA/1960）」を題材に、建築物だけでなく庭や背景なども含んだ環境を一体的に描く。名建築の魅力を意識しながらよく観察して美しくトレースすることを心がける。また、完成した図面を収納するためのフレームをダンボールを素材として作成し、より一層美しいドローイング作品として仕上げる。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を丁寧に美しく制作する。

下記の内容をA2サイズのケント紙（横使い）1枚にレイアウトし、ダンボールで作るフレームに収める。

- a. 各階平面図（S=1/100）
- b. 断面図（S=1/100）周辺環境を含んだもの
- c. 額装したドローイング（A2変形）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 レクチャー・事前課題の確認
- 2講時 手描き製図の復習制作
- 3講時 制作
- 4講時 制作
- 5講時 制作

●2日目

- 1講時 建築作品についてのレクチャー
- 2講時 制作
- 3講時 フレーム制作
- 4講時 フレーム制作
- 5講時 ピンナップ講評

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

- 1. 事前課題
- 2. 鉛筆（2B・4B程度）・練り消しゴム
- 3. 製図用シャープペンシル（0.3～0.9）・製図用消しゴム
- 4. 三角スケール（30cm）
- 5. 三角定規30度、45度（30cm）
- 6. 字消し板・円テンプレート
- 7. 製図用ブラシ
- 8. ドラフティングテープ
- 9. カッター（大）・（小） [2日目]
- 10. ステンレス製ものさし（大/60cm）・（中/30cm）・（小/15cm） [2日目]
- 11. スコヤ [2日目]
- 12. 木工用ボンド・スチのり・または両面テープ（10mm） [2日目]
- 13. 本科目のシラバスページを出力したもの

●各自可能な限り持参

- 1. 勾配定規
- 2. A2平行定規 ※持っている場合は持参が望ましい
- 3. 定着剤（スプレータイプ） [2日目]

●コース支給

- 1. ケント紙（A2）2枚（練習用と提出用）

●コース一括購入で支給

- 1. ダンボール（A2/5mm厚、B2/3mm厚シングル）各1枚

●コース貸出

- 1. 製図板・T定規
- 2. カッティングマット（A2サイズ）

●諸経費

「コース一括購入で支給」は後日引き落としとなります。配付材料の合計金額は200円程度の予定です（2018年度実績）。

S	環境デザイン [建築] II-3 空間表現2 科目コード： 72066
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「環境デザイン [建築] I-3 (立体表現)」「環境デザイン [建築] II-2 (平面表現)」を受講済みであることが望ましい。
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [建築] II-3(161K 空間表現2) 開催日程：2019年7月13日（土）～ 2019年7月14日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [建築] II-3(162T 空間表現2) 開催日程：2019年7月27日（土）～ 2019年7月28日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：82 環境デザイン [建築] II-3(163K 空間表現2) 開催日程：2019年8月31日（土）～ 2019年9月1日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] II-3(164T 空間表現2) 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] II-3(165K 空間表現2) 開催日程：2020年1月18日（土）～ 2020年1月19日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] II-3(166T 空間表現2) 開催日程：2020年2月15日（土）～ 2020年2月16日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25
担当者	（京都）藤村正継、村川美紀、谷帆奈美、（東京）峯田建、池田雪絵、酒井康介、小杉宰子*

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。
ここでは平面的な空間構成に着目して、豊かな住空間を構想し、それを図面と模型で表現することを通して、設計の基礎と設計製図法を学ぶ。
設計製図の基礎の習得、建築空間と環境や人との関係性を構想する手法を学ぶことを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現）、『建築・設計・製図』
参考文献・URL	『コート・ハウス論ーその親密なる空間』西澤文隆 相模書房 『現代のコートハウス』ダンカン・マッキントッシュ 鹿島出版 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「コートハウス」

●内容

コートハウスを題材に設計に取り組む。構想・エスキースから図面表現にいたる設計のプロセスを通して、建築空間を構想する具体的な手順を体験する。構想した空間を手描き製図による図面を通して確認し、プレゼンテーションシートとしてまとめる。

コートハウスは2000年もの間、世界各地で繰り返しつくられてきた。ここでは中庭や、塀または建物で囲われた庭をもった住宅をコートハウスと呼ぶが、庭と住宅内部の2つに大きく分割されるという特徴がある。庭は単なる庭としてではなく、屋外の部屋として捉えたり、空間を分節する間仕切りのように利用したり、空間同士を結ぶ路地や、舞台装置的に扱うことも可能である。本課題では庭と住宅内部との関係をどうつくるかをポイントに提案をまとめる。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を丁寧に美しく制作する。
下記の内容をA2プレゼンテーションシート1枚にレイアウトして提出する。
 - a. 平面図、断面図
 - b. 学籍番号、氏名、作品タイトル、図面名称、縮尺、方位

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 レクチャー、事前課題の確認

2～3講時 構想エスキース

4～5講時 エスキース・制作

●2日目

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. 鉛筆（2B・4B程度）・練り消しゴム
3. 製図用シャープペンシル（0.3～0.9）・製図用消しゴム
4. 三角スケール（30cm）
5. 三角定規30度、45度（30cm）
6. 字消し板・円テンプレート
7. 製図用ブラシ
8. ドラフティングテープ
9. セクションペーパー（A4）、ロールトレペ（A2サイズがとれるもの）*1
10. 模型制作道具と材料（事前課題で持参した模型の手直しに使用）
11. カッター（小）
12. 色鉛筆、アルコールペンなど図面に着彩する道具
13. 本科目のシラバスページを出力したもの

*1 エスキース（自宅で考えた案を発展させる）の際に、図面を素早くたくさん描くのに使用。

●可能な限り持参

1. 勾配定規
2. A2平行定規 ※持っている場合は持参が望ましい
3. トレーシングペーパー ※ロールタイプが望ましい。エスキースに使用。

●コース支給

1. A2用紙 2枚（練習用と提出用）

●コース貸出

1. 製図板・T定規

S	環境デザイン [建築] III-1 寸法1	科目コード： 72067
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 なお、1年次スクーリング「環境デザイン [建築] I-1～3、II-1～3」は受講済みであることを前提に授業を行います。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] III-1(211K 寸法1) 開催日程：2019年4月27日（土）～ 2019年4月28日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] III-1(212T 寸法1) 開催日程：2019年5月18日（土）～ 2019年5月19日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] III-1(213K 寸法1) 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-1(214T 寸法1) 開催日程：2019年10月19日（土）～ 2019年10月20日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-1(215K 寸法1) 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-1(216T 寸法1) 開催日程：2019年12月7日（土）～ 2019年12月8日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50	
担当者	（京都）中村紹子、魚谷繁礼、北川文太、岸川謙介*、（東京）上條淳子、高塚章夫、古市淑乃	

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは単位空間や身体の寸法体系に着目し、建築設計におけるスタディの手法を体得しつつ、空間と人のアクティビティとの関係を捉えた設計手法を学ぶ。

寸法や単位空間から空間構成、そして建築設計へと発展させるプロセスについて理解し、小規模建築としてまとめることを目標とする

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力
5. プレゼンテーションの力

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（室と場面） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコース＞建築学習memo）
参考文献・URL	『見る測る建築』遠藤勝勸著 TOTO出版 『建築のかたちと空間をデザインする』フランシス・D.K.チン著 太田邦夫訳 彰国社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「スケールスタディ」

●内容

この課題の意図は、空間の寸法、モノの寸法、身体・所作の寸法に関する基本的な感覚を身につけ、実空間をスケール変換した縮尺の世界で思考する力を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

ル・コルビュジエがモデュロールという概念を提唱し、人体から得られる様々な寸法から建築空間を考える礎を築いたように、この課題でも自分の身体寸法をもとに建築の設計に取り組む。身体寸法カードを制作し、建築空間と身体との関係を様々な寸法をもとに認識する作業を行い、それらを活かして、自らの住居兼アトリエを設計する。

テキスト科目「環境デザイン基礎1（建築）」と関連性の強い内容としている。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 寸法について
 - ・自身の身体寸法を知るために身体寸法カード（携帯できる大きさのもの）を作成する。
 - ・教室内で寸法についてのレクチャーを行った後、三角スケールの扱いや縮尺の説明を名建築の図面などを用いて行う。
3. 設計課題について
 - ・都心の狭小な敷地に平面4m×4m、高さ7mのボリュームを想定し、3層以上の自宅兼アトリエを計画。
 - ・所作と寸法の関係性を考慮しながら、自らが住み、そこで活動したくなるような2層以上の吹抜けをもつ立体的な住空間をつくる。
4. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。

- a. 身体寸法カード
- b. A2プレゼンテーションシート1枚（アクティビティを描き込んだ平面図・断面図 S=1/30）
- c. スタディ模型（S=1/30）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 レクチャー

2～5講時 制作

●2日目

1～4講時 制作

5講時 制作・ピンナップ講評

授業は1年次スクーリング「環境デザイン〔建築〕I-1～3、II-1～3」を受講済みで、図面の描き方および模型制作の基礎は習得しているものとして進めていきます。不安のある方は『建築学習memo』『マニュアル』の該当箇所やairUマイページにて1年次スクーリングWeb教材を参照し十分に復習をしたうえで授業に臨んでください。

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. 図面を描く道具（ノート型パソコンも可） *1) 参照
3. 巻尺（コンベックス）
4. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
5. 本科目のシラバスページを出力したもの
6. 模型を制作する道具 *1) 参照
7. スチレンボード（3mm厚・5mm厚／A3以上）各2枚程度

●各自可能な限り持参

1. A2平行定規
2. スタディ模型に配置することで空間の大きさを確認するための椅子や机などの簡単な家具模型

●コース貸出

1. スプレーのり
2. 製図板・T定規
3. カッティングマット（A2サイズ）

●コース支給

1. ケント紙（A2）1枚

*1) 『コースガイド』p.30「制作に必要な道具」参照。

S	環境デザイン [建築] III-2 環境1 科目コード： 72068
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※ なお、1年次スクーリング「環境デザイン [建築] I-1～3、II-1～3」は受講済みであることを前提に授業を行います。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] III-2(221T 環境1) 開催日程：2019年4月27日（土）～ 2019年4月28日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] III-2(222K 環境1) 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] III-2(223K 環境1) 開催日程：2019年11月2日（土）～ 2019年11月3日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-2(224T 環境1) 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-2(225K 環境1) 開催日程：2019年12月7日（土）～ 2019年12月8日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-2(226T 環境1) 開催日程：2020年2月8日（土）～ 2020年2月9日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50
担当者	（京都）塔本研作、豊田保之、芦田奈緒、岸川謙介*、（東京）吉原美比古、丸橋浩

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは環境との共生に着目し、自然の力を活かした住環境の設計手法を学ぶ。人の生活環境と自然環境との共生の工夫を理解し、時代に即した住空間のあり方としてまとめることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（環境・居住）・『デジタル教科書「建築学習memo」』
参考文献・URL	『三分一博志 瀬戸内の建築』三分一博志 TOTOT出版 『JA81 三分一博志』新建築社 『民家のしくみー環境と共生する技術と知恵』坊垣和明著 学芸出版社 『集落の教え100』原広司著 彰国社 『民家造一素材を活かす技、暮らしを映すかたち』安藤邦廣著学芸出版社 『住まいの伝統技術』安藤邦廣著学芸出版社 『イラストによる家づくり成功読本』丸谷博男・峯田建・恩田恵以著彰国社 『環境のイエフィジックスと住空間デザイン』小泉雅生著学芸出版社 『新建築住宅特集 2015年4月臨時増刊 風のかたち 熱のかたち 建築のかたち』末光弘和+末光陽子/SUEP. の設計に見る環境と建築の相関 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「環境をかたちにする_住宅編」

●内容

この課題の意図は、風土を活かした住環境の設計について考える力を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

自然環境の中で見つけた自然物を素材として使用し、自然環境の中で場の特異性を活かした彫刻やランドアートを制作するアーティスト、アンディー・ゴールドズワージー (Andy Goldsworthy) のための家を設計する。

彼の要望は「風土の魅力が体感でき、創作活動の刺激となるようなアトリエが欲しい」ということと、「その場所の風土を尊重できるような暮らしがしたい」ということである。ここでは、彼の要望を受けて単に意匠的にすぐれた住宅を設計するだけでなく、気候や地形などの自然条件をうまく取り入れた、快適な住空間の設計に取り組む。古くから行われていた環境と住空間のかかわり合いを理解すると共に、現代建築の中でその技術をどのように利用し、いかにしてデザインに取り入れていくか考察する。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 環境アーティストのための家、規模は100㎡程度（そのうちアトリエを60-65㎡以上として各自設定する）
3. 敷地を以下の8つから1箇所を選ぶ。（敷地図は「事前課題」を参照）
 上富良野（北海道）：寒冷地／熊谷（埼玉県）：猛暑／高田（新潟県）：豪雪地帯／
 石垣島（沖縄県）：台風、猛暑／室戸岬（高知県）：暴風地域／屋久島（鹿児島県）：多雨地域／

軽井沢（長野県）：湿潤気候／京都市（京都府）：盆地

4. 単身者住居として使用できる必要最低限の機能（睡眠、調理、飲食、入浴、排泄）を入れる。
5. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート、配置図（S=1/100）
 - b. 平面図、断面図（S=1/50）
 - c. 環境の仕組みを図化したもの（ダイアグラム）および内観パース

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 レクチャー
- 2講時 事前課題発表・エスキース
- 3講時 制作・エスキース
- 4講時 制作・エスキース
- 5講時 制作・エスキース

●2日目

- 1講時 制作
- 2講時 制作
- 3講時 制作
- 4講時 制作
- 5講時 制作・ピンナップ講評

授業は1年次スクーリング「環境デザイン〔建築〕Ⅰ-1～3、Ⅱ-1～3」を受講済みで、図面の描き方および模型制作の基礎は習得しているものとして進めていきます。不安のある方は『デジタル教科書「建築学習memo」』『「マニュアル」の該当箇所やairUマイページより1年次スクーリングWeb教材を参照し十分に復習をしたうえで授業に臨んでください。

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. A2ロールトレーシングペーパー
3. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
4. 製図およびプレゼンテーションに必要な道具（ノート型パソコンも可）
5. 模型制作に必要な道具と材料
6. デジタルカメラ

●コース貸出

1. カッティングマット（A2サイズ）
2. スプレーのり
3. 製図板・T定規

●コース支給

1. ケント紙（A2）3枚

S	環境デザイン [建築] III-3 集住	科目コード： 72069
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※ なお、1年次スクーリング「環境デザイン [建築] I-1～3、II-1～3」は受講済みであることを前提に授業を行います。また「デザイン基礎2（建築）」は合格済みであることが望ましい。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] III-3(231T 集住) 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] III-3(232K 集住) 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-3(233K 集住) 開催日程：2019年12月21日（土）～ 2019年12月22日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-3(234T 集住) 開催日程：2020年1月25日（土）～ 2020年1月26日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-3(235K 集住) 開催日程：2020年2月1日（土）～ 2020年2月2日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] III-3(236T 集住) 開催日程：2020年2月15日（土）～ 2020年2月16日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50	
担当者	（京都）吉田裕枝、長野良亮、殿井環、岸川謙介*、（東京）中永勇司、菓子麻奈美、濱田慎太	

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは住人同士の関係や周辺環境との関係に着目し、立体的に建築空間をスタディしながら設計する手法を学ぶ。

住居同士の平面的な関係や上下階の断面的な関係、パブリックとプライベートな空間の関係などに配慮した立体構成のスタディプロセスを理解し、小規模な集住体としてまとめることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力

4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（居住―集合住宅） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコース＞建築学習memo）
参考文献・URL	『地域社会圏主義』山本理顕他著 LIXIL出版 『シェアをデザインする』猪熊純 成瀬友梨 門脇耕三 中村航 浜田晶則他著 学芸出版社 『「シェア」の思想／愛または制度と空間の関係』門脇耕三 西沢大良 千葉雅也他著 LIXIL出版 『en{縁}：beyond-SHARING』第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館 公式カタログ山名善之 菱川勢一 内野正樹著 TOTO出版 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「ドミトリー」

●内容

この課題の意図は、小規模の学生寮を題材に立体的に空間の構成をスタディし、設計する力を養うことにある。同時に人が集まって住むことによって生じる住戸同士、専有部（各住戸）と共用部や学生寮と周辺環境といった建築をめぐる様々な物事の間接的な関係、空間の構成として設計してもらいたい。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

世界各地の集落には、地理的条件や気候、生活様式などを背景とした地域による様々な集合の形式がみられ、多様で美しい群造形の風景をつくり出している。それに比べると、現代の集合住宅は各住戸のプライバシーが過度に重視された結果、集まって住むことの意義が失われてきた。一方、少子高齢化社会や働き方が多様になったことを背景に、住戸同士の関係や周辺環境との関わり方が見直されて新たな集合住宅が台頭してきている。SOHOやシェアハウスなどはその一例と言えよう。ここでは、10の住戸ユニットが集まってできるドミトリー（学生寮）を設計する。自らの学生生活の実感をもとに住戸同士の関係、スタジオをはじめとする共用部の在り方を考え、自分が理想とする学生寮の設計に取り組む。

●制作条件

1. airUマイページを参照し事前課題に取り組む（手描き・CADどちらでも可）。

2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
- a. 建築をめぐる様々な物事の関連を示すダイアグラム
 - b. 平面図 (S=1/100)
 - c. 断面図 (S=1/100)
 - d. 最終模型 (S=1/100)
 - e. 共用部の魅力を表現する模型写真、あるいはパース

授業は1年次スクーリング「環境デザイン〔建築〕Ⅰ-1～3、Ⅱ-1～3」を受講済みで、図面の描き方および模型制作の基礎は習得しているものとして進めていきます。不安のある方は『デジタル教科書「建築学習memo」』『「マニュアル」の該当箇所やairUマイページより1年次スクーリングWeb教材を参照し十分に復習をしたうえで授業に臨んでください。

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 集住の歴史に関するレクチャー・事例研究の発表・解説
- 2講時 事例研究の発表・解説、事前課題のエスキース
- 3講時 事前課題のエスキース
- 4講時 スタディ・制作
- 5講時 スタディ・制作

●2日目

- 1～4講時 制作
- 5講時 制作・ピンナップ講評

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

- 1. 事前課題
- 2. スタディするための筆記用具（ノート型パソコンも可）
- 3. 模型などを制作する道具 *1) 参照
- 4. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
- 5. スチレンボード（1mm厚、2mm厚、3mm厚 / A3）各2枚程度 *2) 参照
- 6. プラ板 A4×2枚
- 7. 電卓
- 8. デジタルカメラ
- 9. 本科目のシラバスページを出力したもの

●コース貸出

- 1. カッティングマット（A2サイズ）
- 2. スプレーのり
- 3. プリンタ・ノートPC（プリント専用）
- 4. 製図版・T定規

*1) 『コースガイド』p.30「制作に必要な道具」参照。

*2) スチレンボードは最小限の枚数です。少し余裕をもって持参されることをおすすめします。

●コース支給

1. ケント紙（A2）2枚

S	環境デザイン [建築] IV-1 住宅架構 科目コード： 72070
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※ なお、1年次スクーリング「環境デザイン [建築] I-1～3、II-1～3」は受講済みであることを前提に授業を行います。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] IV-1(241K 住宅架構) 開催日程：2019年7月20日（土）～ 2019年7月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-1(242T 住宅架構) 開催日程：2019年7月27日（土）～ 2019年7月28日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-1(243T 住宅架構) 開催日程：2019年10月26日（土）～ 2019年10月27日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] IV-1(244K 住宅架構) 開催日程：2019年11月23日（土）～ 2019年11月24日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] IV-1(245K 住宅架構) 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 環境デザイン [建築] IV-1(246T 住宅架構) 開催日程：2020年1月11日（土）～ 2020年1月12日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50
担当者	（京都）佐久間譲、柳室純、岸川謙介*、（東京）横山太郎、名和研二、寶神尚史、高塚章夫、小杉幸子、望月公紀

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは建築一般構造に着目し、住宅の架構模型の制作を通して建築の骨組みを考えることで、それに関する基本事項と建築設計におけるスタディの手法を学ぶ。

構造的視点から建築空間を構想する基本を学ぶことを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力
5. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコース＞建築学習memo）
参考文献・URL	『ヴィヴィッド・テクノロジー 建築を触発する構造デザイン』小野暁彦編著 学芸出版社 『はじめての建築・一般構造』学芸出版社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「住宅架構のスタディ」

●内容

この課題の意図は、住宅の架構モデルを制作し建築の骨組みを考えることで、構造的視点から建築空間を構想する基本を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。
建築物の現実化に最も重要な要素のひとつは構造であることは言うまでもないが、設計課題においてはしばしばそのことが忘れ去られがちになる。この授業では木造、鉄骨造の柱梁構造による現代住宅の実例の検討とその軸組模型作成をふまえ、さらにチャレンジングな構造を構想することにトライする。
この課題は「建築家のスケッチ」と称した新たな住宅設計に関するスケッチが前提となる。そのスケッチは施主と建築家の「ヴィジョン」と「わがまま」があふれており、それを実現するためには多少構造的にアクロバティックな解決の必要が出てくるであろう。知恵を絞り、いかに工夫すれば軸組として成立するかを試行錯誤し、「建築家のスケッチ」を軸組模型に結実させる。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. 軸組模型（事前課題 S=1/50）
 - b. 新プロジェクト軸組模型（S=1/50）
 - c. 新プロジェクト意匠模型（S=1/50）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 レクチャー・制作

2～5講時 制作

●2日目

1～4講時 制作

5講時 制作・ピンナップ講評

授業は1年次スクーリング「環境デザイン〔建築〕I-1～3、II-1～3」を受講済みで、図面の描き方および模型制作の基礎は習得しているものとして進めていきます。不安のある方は『デジタル教科書「建築学習memo」』『「マニュアル」の該当箇所やairUマイページにて1年次スクーリングWeb教材を参照し十分に復習をしたうえで授業に臨んでください。

受講にあたって

●持参物

●事前課題で使用する材料

1. ヒノキ角材（2mm角／60cm）10本程度
2. バルサ材（1mm厚／幅8cm×長さ60cm相当）1枚程度
3. スチレンペーパー（2mm厚／B3）1枚程度
4. スチレンボード（2mm厚／B3）1枚程度
5. スチレンボード（3mm厚／B3）1枚程度
6. スチのり（小）・木工用ボンド速乾（小）
7. 紙やすり #200～300程度
8. プラ棒（1mm角）1本程度

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
3. 模型などを制作する道具 *1) 参照
4. スチのり（小）・木工用ボンド速乾（小）
5. ヒノキ角材（2mm角／60cm）20～40本
6. バルサ板（1mm厚／幅8cm×長さ60cm相当）1枚程度
7. スチレンペーパー（2mm厚／B3）1枚程度
8. 紙やすり #200～300程度
9. 本科目のシラバスページを出力したもの

●各自可能な限り持参

1. 巻尺
2. ガイドボックス *2) 参照
3. 精密細工のこ *2) 参照
4. スチレンペーパー（1mm厚／B3）1枚程度
5. プラ棒（1mm角）3本程度

●コース貸出

1. カッティングマット（A2サイズ）
2. スプレーのり

*1) 『コースガイド』p.30「制作に必要な道具」参照。

*2) 画材店のADストア、レモン画翠、東美でも購入することができます。

ADストア <http://www.adstore-kuad.co.jp/correspondence/index.html>

レモン画翠 <https://www.lemon.co.jp/student/>

東美 <http://e-tobi.co.jp/ueno-kuad/>

ガイドボックスは「マイターボックス」、精密細工のこは「ユニバーサル鋸 マイターボックス用」
（レモン画翠）・「ピラニアン鋸 マイターボックス用」（AD・東美）が該当商品となります。ひのき
角材を90度の角度に正確に切断することができるので、持参する方が良いでしょう。

S	環境デザイン [建築] IV-2 表現 科目コード： 72071
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※ なお、1年次スクーリング「環境デザイン [建築] I-1～3、II-1～3」は受講済みであることを前提に授業を行います。 ※ 「AutoCAD」2次元製図をある程度理解している前提で授業を行います。環境デザイン[建築]IV-3 (CAD) 履修後の受講を推奨します。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] IV-2(251K 表現) 開催日程：2019年7月6日（土）～ 2019年7月7日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-2(252T 表現) 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-2(253T 表現) 開催日程：2019年11月23日（土）～ 2019年11月24日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] IV-2(254T 表現) 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] IV-2(255K 表現) 開催日程：2020年1月18日（土）～ 2020年1月19日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-2(256K 表現) 開催日程：2020年2月22日（土）～ 2020年2月23日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：50
担当者	（京都）岸川謙介*、相波幸治、川上聡、（東京）遠山之寛、奥野幹

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計におけるCAD表現の基礎を学ぶ。
 ここではCADソフトウェアを用いた表現の手法に着目し、建築空間の魅力や特徴を表現するためのプレゼンテーションを学ぶ。
 CADソフトウェアの基礎技法とその表現手法を習得することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力

5. プレゼンテーションの力
上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現／居住） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコース＞建築学習memo）
参考文献・URL	『建築構成の手法－比例・幾何学・対称・分節・深層と表層・層構成』小林克弘著 彰国社 『建築のしくみ 住吉の長屋／サヴォワ邸／ファンスワース邸／白の家』安藤 直見、柴田 晃宏、比護 結子 著、丸善出版 『a+u 2000年10月臨時増刊号 20世紀のモダン・ハウス：理想の実現II』エー・アンド・ユー 建築デザインコースサイト http://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「CADプレゼンテーション」

●内容

この課題の意図は、図面と写真から建築の仕組みを読み取る作業を通じて、CADソフトウェアを用いた建築プレゼンテーション技術を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

この課題では20世紀を代表する建築家ミース・ファン・デル・ローエ（Ludwig Mies van der Rohe／1886～1969）の代表的な住宅作品である「ファンスワース邸（Farnsworth House／Illinois, USA／1950）」を題材にそのコンセプトや魅力、特徴、構成原理などを読み取り、図面やダイアグラム、アイソメなどを制作し、全体を美しくレイアウトしたプレゼンテーションボードを制作する。

●制作条件

1. airUを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を丁寧に美しく制作する。
下記の内容をA2のプレゼンテーションパネル1枚にまとめる。
(A3サイズ2枚に出力されたプレゼンテーションシートをパネルに貼り合わせる)
 - a. 平面図
 - b. アイソメ図
 - c. 断面パース・内観パース
 - d. 学籍番号、氏名、作品タイトル、図面名称、縮尺、方位

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 レクチャー・事前課題の確認

2～5講時 操作説明と制作（2D・3D）

●2日目

1講時 操作説明と制作（2D・3D）

2～4講時 プレゼンテーション作成

5講時 ピンナップ講評

授業は1年次スクーリング「環境デザイン〔建築〕I-1～3、II-1～3」を受講済みで、図面を描く基本は習得しているものとして進めていきます。不安のある方はairUマイページより1年次スクーリングのWeb教材などを参照して、十分に復習をしたうえで授業に臨んでください。

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. AutoCADがインストールされたノート型パソコン（パソコンACアダプター、マウス等の周辺機器含む）マウスがなければ全く効率が上がりません。必ず持参してください。*1) 参照
3. 学内LAN利用アカウント *2) 参照
4. airUのログインアカウント
5. 三角スケール
6. 作品データを保存する為のメディア（USBメモリなど）
7. 本科目のシラバス該当ページのPDFデータまたは出力したもの
8. カッター（大）・（小）
9. カッター替刃（大）・（小）30度・刃折器
10. のり付きパネル（ハレパネ）（5mm厚／A2）1枚

*1) AutoCADの入手方法や動作環境は『コースガイド』p.27「パソコンとソフトウェア」参照。

*2) 学内無線LAN接続時に必要。『学習ガイド』p.95参照。

●コース貸出[2日目]

1. カッティングマット(A2サイズ)
2. ステンレス製のさし（大／60cm）

注意事項

1. CADの授業です。学内の無線LANに接続するために「学内LAN利用アカウント」が必要です。忘れると授業は受講できませんので、必ず持参してください。
2. 事前課題でCADソフト「AutoCAD」を使用します。少なくとも授業開始の1ヶ月前までには所定のサイトからインストールをして動作確認を行ってください。授業のための教材は「AutoCAD2017」で作成されています。スクーリングで持参するバージョンは「AutoCAD2018」以降を使用してください（授業で教員が使用するバージョンは「AutoCAD2019」です）。ソフトの入手方法などの詳細は『コースガイド』p.27、インストールマニュアルは、airUマイページ>

カリキュラム一覧＞本科目ページ＞「事前課題」にアップロードしています。

S	環境デザイン [建築] IV-3 CAD 科目コード： 72072
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※ なお、1年次スクーリング「環境デザイン [建築] I-1～3、II-1～3」は受講済みであることを前提に授業を行います。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] IV-3(261K CAD) 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-3(262T CAD) 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-3(263T CAD) 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] IV-3(264K CAD) 開催日程：2019年10月19日（土）～ 2019年10月20日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] IV-3(265T CAD) 開催日程：2019年11月2日（土）～ 2019年11月3日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50 環境デザイン [建築] IV-3(266K CAD) 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50
担当者	（京都）古川晋也、岸川謙介*、（東京）田村秀規、鴻野吉宏

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

ここではCADソフトウェアを用いた製図を行うことで、建築設計に必要な平面表現および立体表現の技法を身につける。

CADソフトウェアの基礎技法を体得し、空間の成り立ちや構造を理解することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
2. 課題主旨の理解度
3. 発想力
4. 具現化する力
5. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返り、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（居住）
参考文献・URL	『ルイス・カーンの全住宅 1940－1974』TOTO出版 『a+u 2009年2月号ルイス・カーンの住宅』エーアンドユー 『やさしく学ぶ建築製図』エクスナレッジ 建築デザインコースサイト http://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「CAD基礎」

●内容

この課題の意図は、CADの2次元製図のための基礎技法を身に付けることにある。

この課題では、20世紀を代表するアメリカ人建築家ルイス・カーン（Louis I. Kahn／1901～1974）の代表的な住宅作品である「フィッシャー邸（Norman Fisher House／Philadelphia, Pennsylvania, USA／1960）」を題材に、2次元でのCAD製図に取り組む。手描きの製図とは異なるCADならではの利便性などに触れてみる。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を丁寧に美しく制作する。

下記の内容を所定のレイアウトフォーマット（A3サイズ of 用紙1枚横使い）にレイアウトし「AutoCAD」と「PDF」のデータとして提出する。（ファイル名は「学籍番号.dwg」「学籍番号.pdf」とする。）

- a. 平面図、立面図、断面図
- b. 断面パース、内観パース
- c. 学籍番号、氏名、作品タイトル、図面名称、縮尺、方位

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 レクチャー・事前課題の確認

2～5講時 操作説明と制作

●2日目

1～2講時 操作説明と制作

3～4講時 プレゼンテーション作成

5講時 ピンナップ講評

授業は、1年次スクーリング「環境デザイン〔建築〕I-1～3、II-1～3」を受講済みで図面を描く基本は習得しているものとして進めていきます。不安のある方はairUマイページより1年次スクーリングのWeb教材などを参照して、十分に復習をしたうえで授業に臨んでください。

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. AutoCADがインストールされたノート型パソコン（パソコンACアダプター、マウス等の周辺機器含む）マウスがなければ全く効率が上がりません。必ず持参してください。*1）参照
3. 学内LAN利用アカウント *2）参照
4. airUのアカウントとパスワード
5. 三角スケール
6. 作品データを保存する為のメディア（USBメモリなど）
7. 本科目シラバス該当ページのPDFデータまたは出力したもの

*1) AutoCADの入手方法は『コースガイド』p.27「ソフトウェアとコンピュータ」参照。

*2) 学内無線LAN接続時に必要。『学習ガイド』p.95参照。

注意事項

1. CADの授業です。学内の無線LANに接続するために「学内LAN利用アカウント」が必要です。忘れると授業は受講できませんので、必ず持参してください。
 2. 事前課題でCADソフト「AutoCAD」を使用します。少なくとも授業開始の1ヶ月前までには所定のサイトからインストールをして動作確認を行ってください。授業のための教材は「AutoCAD2017」で作成されています。スクーリングで持参するバージョンは「AutoCAD2018」以降を使用してください（授業で教員が使用するバージョンは「AutoCAD2019」です）。
- ソフトの入手方法などの詳細は『コースガイド』p.27、インストールマニュアルは、airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目ページ＞「事前課題」にアップロードしています。

S	環境デザイン[建築]V-1 風景	科目コード： 72073
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1（建築）」、「環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1」をスクーリング申込までに合格済みであること。（課題提出締切日は『学習ガイド』p.53参照） 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] V-1(311K 風景) 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-1(312T 風景) 開催日程：2019年8月3日（土）～ 2019年8月4日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-1(313K 風景) 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-1(314T 風景) 開催日程：2019年12月21日（土）～ 2019年12月22日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25	
担当者	（京都）新井清一、木村吉成、（東京）高橋堅、望月公紀*	

科目概要と到達目標

公共性のある建築を題材に建築設計課題に取り組む。
 ここでは、風景と建築の関係性に着目し、機能だけでなく光や風景の扱い方によって生まれる空間の魅力を考えながら中規模の空間を設計する。
 建築計画・建築意匠上の諸問題や、建築と社会、環境との関わりを理解したうえで、新たな建築空間と公共建築を提案することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
 また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（交流：文化） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコース＞建築学習memo）
参考文献・URL	『西洋建築史図集三訂版』日本建築学会編 彰国社 『人類と建築の歴史』藤森照信著 筑摩書房 『GA Contemporary Architecture 12: RELIGIOUS』A.D.A. ADITA Tokyo 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「祈りの空間」

●内容

この課題の意図は、建築とそれを取り巻く風景との関係を理解し、機能性だけでなく「空間の魅力」そのものについて考える力を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

牧師さんからの設計依頼がある。「海、草原、都市。自然環境の異なる3つの場所のいずれか1ヶ所に祈りの空間をつくりたい。漠然とですが、それぞれの土地に対して自分なりのイメージがある。なによりも光が重要で、海では『光』と『海と太陽』、草原では『光』と『風と風景』、大都市では『光』と『闇と空』。光と環境のキーワードから連想する祈りの空間を設計できないだろうか？部屋の大きさや形は任せるので、まずは光と環境が呼応する厳かな空間を設計して欲しい。」ここでは、各自が海、草原、都市のいずれか1箇所を選び、建築が風景の一部になることを考えながら配置計画を丁寧に考えるとともに、光と環境のキーワードからイメージを膨らませ、空間の魅力溢れる厳かな空間を設計する。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 敷地：海、草原、都市のうちいずれか1箇所を選ぶ。（敷地図はairUマイページ参照。）
3. 規模：500㎡～600㎡程度で設計する。（トイレ、風呂、仮眠室を用意する。）
4. 光と環境のキーワードを具現化するコンセプト模型を制作する。
5. 建物の配置、大きさ、メインスペースへのアプローチの仕方も含めて設計する。
6. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート、配置図（S=1/100～1/200）※周辺環境や建物、外構計画も示す。
 - b. 内部空間を表現する模型写真
 - c. 全体模型（S=1/200）、インテリアがわかる模型（S=1/50）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 事前課題発表

2講時 制作・エスキース

3講時 制作・エスキース
4講時 制作・エスキース
5講時 制作・エスキース

●2日目

1講時 制作
2講時 制作
3講時 制作
4講時 制作
5講時 ピンナップ講評

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. A2ロールトレーシングペーパー
3. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
4. 製図およびプレゼンテーションに必要な道具
5. 模型制作に必要な道具と材料
6. デジタルカメラ

●コース貸出

1. カッティングマット（A2サイズ）
2. スプレーのり・ヒートカッター
3. プリンタ・ノートPC（プリント専用）

●コース支給

1. ケント紙（A2）2枚

S	環境デザイン[建築]V-2 環境2	科目コード： 72074
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1（建築）」、「環境デザイン演習 [建築] II-1」をスクーリング申込までに合格済みであること。（課題提出締切日は『学習ガイド』p.53参照） ※受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [建築] V-2(321T 環境2) 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-2(322K 環境2) 開催日程：2019年6月8日（土）～ 2019年6月9日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-2(323KT 環境2) 開催日程：2019年11月9日（土）～ 2019年11月10日（日） 開催地：金沢■、受講料： ￥16,000、定員：25	
担当者	（京都）藤田慶、（東京）小杉宰子、佐々木龍郎、（金沢）望月公紀*	

科目概要と到達目標

公共性のある建築を題材に、建築設計課題に取り組む準備をする。
名建築を題材に建築計画・建築意匠上の諸問題や、建築と社会・環境との関わりについて理解を深めるための視点を学ぶと共に、設計を行う準備としての事例研究の方法を身につけることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、資料としてまとめ授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（環境・居住）
------	---------------------------

テキスト	『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコース＞建築学習memo）
参考文献・URL	「事前課題」から各スクーリング日程の教材を確認してください 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「環境をかたちにする_公共編」

●内容

この課題の意図は、公共建築の見方を学び、仕組みを知ることを目的としている。

1年次テキスト課題「環境デザイン演習〔建築〕I-1（名建築を語る）」やスクーリング科目「環境デザイン〔建築〕I-1（フィールドワーク）」では、建築家が設計した建築を体験することで建築の魅力を知ることが主な目的であった。しかしながら、実際に設計をするためにはより解像度を上げて建築を読み解く目を養う必要がある。

この課題では、公共建築のフィールドワークを通じ、一般動線、管理動線、設備スペース、構造など様々な視点で公共建築の見方を学び、自ら公共建築を設計するための準備をすることが目的である。また、事例研究をどのように進め、いかに設計に活用すべきかについて習得し、未知の領域の建築を自ら考え進める方法を学ぶ。

（A）～（C）の日程でそれぞれに見学する公共建築を挙げている。自身が興味を持つ公共建築を選び、課題に取り組んでいただきたい（スクーリング受講料以外に別途見学科、交通費が必要）。

（A）～（C）の授業内容については「事前課題」のページから確認してください。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. フィールドワークを通して発見した公共建築における場や空間のつくり方に対する各自の気づきをまとめたもの。

授業計画

詳細については事前課題のタブ【1】～【3】より受講する日程のページを確認してください。

（A）東京 「321T 東京の図書館・美術館」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目（1～5講時）

外苑キャンパス集合 現地解散

講義

フィールドワーク（東京都美術館・法隆寺宝物館）

●2日目（1～5講時）

現地集合 外苑キャンパス解散

フィールドワーク

ワークショップ・まとめ（武蔵野プレイス）

(B) 京都「322K 関西の図書館・美術館」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目（1～5講時）

現地集合「新神戸駅」付近集合 現地解散

講義

フィールドワーク（竹中大工道具館、兵庫県立美術館）

●2日目（1～5講時）

現地集合 京阪枚方駅付近集合 瓜生山キャンパス解散

フィールドワーク（枚方T-SITE、平成知新館）

ワークショップ・まとめ

(C) 金沢「323KT 金沢の図書館・美術館」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目（1～5講時）

現地集合 現地解散

講義

フィールドワーク（金沢21世紀美術館・鈴木大拙館）

●2日目（1～5講時）

現地集合 現地解散

フィールドワーク（金沢海みらい図書館）

ワークショップ・まとめ

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. スケッチブック（A5～A4サイズ程度）またはノート類
3. 筆記用具（鉛筆は必須。美術館等では鉛筆以外使用できない場合があります）
4. 巻尺（コンベックス）
5. デジタルカメラ
6. 学生証（見学先の入館時に必要となるため）

●各自可能な限り持参

1. 保険証
2. 雨具・帽子・歩きやすい靴〔適宜〕
3. バインダー

※その他各日程で指定されているものがあれば持参すること（事前課題のタブ【1】～【3】参照）

●諸経費

このスクーリングは公共交通機関などを利用して学生各自で移動する形式の授業です。交通費は各自でご負担ください。その他の諸経費については詳細は事前課題のタブ【1】～【3】より受講する日程のページを確認してください。

●その他

●323KT（金沢）での宿泊先について

金沢でのスクーリングを受講する場合は、金沢市内に宿泊することを推奨します（宿は各自で手配）。金沢駅周辺のホテル、もしくは、ReBITAが新しいホテルの提案として展開している以下のようなシェアホテルを体験してみるのも良いでしょう。

THE SHARE HOTELS HATCHi 金沢

<https://www.thesharehotels.com/hatchi/>

THE SHARE HOTELS KUMU 金沢

<https://www.thesharehotels.com/kumu/>

THE SHARE HOTELS HATCHi 金沢はお一人でも相部屋にて宿泊可。THE SHARE HOTELS KUMU 金沢はご友人やご家族ごと大部屋のようです。

S	環境デザイン[建築]V-3 場のかたち	科目コード： 72075
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1（建築）」、「環境デザイン演習[建築] II-1」をスクーリング申込までに合格済みであること。（課題提出締切日は『学習ガイド』p.53参照） 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] V-3(331K 場のかたち) 開催日程：2019年4月20日（土）～ 2019年4月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-3(332T 場のかたち) 開催日程：2019年4月27日（土）～ 2019年4月28日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-3(333K 場のかたち) 開催日程：2019年10月5日（土）～ 2019年10月6日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-3(334T 場のかたち) 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25	
担当者	（京都）岸川謙介、（東京）小杉宰子・望月公紀*	

科目概要と到達目標

公共性のある建築を題材に、建築設計課題に取り組む。

ここでは人が集まる場の形態に着目し、フィールドワーク等によって敷地が潜在的に持っている力や文脈を読み解き、その場に必要とされる建築プログラムを構築して公共性のある中規模建築を設計する。敷地や人の流れを読み解き自ら課題を発見して、それらを建築設計を通じて解決するプロセスを体験することで、新たな人が集まる場の形態を提案することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。

また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（図書） 『デジタル教科書「建築学習memo」』建築の設計過程（12 MATRIX）
参考文献・URL	『新建築2008年6月臨時増刊The MARUNOUCHI Book Activity, Maps & Urban Architectureマルノウチ本』新建築社 『建築設計資料97 図書館3』建築資料研究社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「図書館」

●内容

この課題の意図は、設計に取り組む際に必要な敷地のリサーチとそのまとめ方、公共建築を設計する際に必要な条件整理の方法を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

2年次課題では住宅を中心に設計の手法を学び、3年次課題では主に公共性のある建築の設計に取り組んでいる。公共性のある建築を設計する際には、様々な制限や条件、問題や課題などの要因に対して分析を行い整理し設計条件を組み立てる、条件整理のステップがより重要となる。

今回はキャンパス周辺を敷地に地域の住民等が日常的に利用する図書館を設計する。敷地近辺は普段通り慣れた場所ではあるが、まずは周辺を歩き敷地条件を地理的、歴史的、社会的、環境的など様々な観点から客観的にリサーチし、その結果をわかりやすくかつ美しくマッピングしていく。マッピングによって浮び上がってきたその場所の隠れた構造をふまえて、その問題点や魅力を見つける。リサーチの結果から得た条件に加えて、「図書館」固有の設計上の機能条件、公共的な建築を設計する際に求められるプランニングの常識を理解して、与えられた条件を整理する。それらを踏まえて、課題の制作条件に基づいて提案を行う。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 敷地：〔京都で受講〕瓜生山キャンパス近辺の敷地／〔東京で受講〕外苑キャンパス
3. 現地をリサーチし、マッピングをする。
4. リサーチ結果と条件整理をふまえ、図書館を設計する。
5. 図書館は3000m²程度、地上3階建てとする。
6. 必要諸室やその他の条件については、事前課題を参照。
7. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. 配置図、平面図、断面図（S=1/200）
 - b. ダイアグラム

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 レクチャー・敷地リサーチ・マッピング
- 2講時 レクチャー・敷地リサーチ・マッピング
- 3講時 エスキース
- 4講時 エスキース
- 5講時 エスキース

●2日目

- 1講時 制作
- 2講時 制作
- 3講時 制作
- 4講時 制作
- 5講時 ピンナップ講評・まとめ

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. 巻尺（コンベックス）
3. A2ロールトレーシングペーパー
4. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
5. 製図およびプレゼンテーションに必要な道具
6. マーカー・色鉛筆
7. デジタルカメラ

●コース貸出

1. 製図版・T定規
2. カッティングマット（A2サイズ）
3. スプレーのり
4. プリンタ・ノートPC（プリント専用）

S	環境デザイン[建築]V-4 風景と構成	科目コード： 72076
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1（建築）」、「環境デザイン演習[建築] II-1」をスクーリング申込までに合格済みであること。（課題提出締切日は『学習ガイド』p.53参照） 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] V-4(341K 風景と構成) 開催日程：2019年5月25日（土）～ 2019年5月26日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-4(342T 風景と構成) 開催日程：2019年7月6日（土）～ 2019年7月7日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-4(343K 風景と構成) 開催日程：2019年11月2日（土）～ 2019年11月3日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-4(344T 風景と構成) 開催日程：2019年11月23日（土）～ 2019年11月24日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25	
担当者	（京都） 岡本一真、川上聡、（東京）鈴木丈晴、西田司、望月公紀*	

科目概要と到達目標

公共性のある建築を題材に、建築計画について学ぶ。
ここでは、街路空間と建築空間の関係性に着目して、公共性のある図書館を計画する。
街の界限性を分析し積極的に街との関係を築く公共性のある図書館の計画を目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 受講への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準で総合的に評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（図書） 『デジタル教科書「建築学習memo」』建築の設計過程（12 MATRIX）
参考文献・URL	『つくる図書館をつくるー伊東豊雄と多摩美術大学の実験』鹿島出版会 『11ARTS 代官山プロジェクトを巡る、11建築家の提案』復刊ドットコム 2010 『建築設計資料97 図書館3』建築資料研究社 『GA Contemporary Architecture 03 LIBRARY』A.D.A.EDITA Tokyo 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「パサージュのある図書館」

●内容

この課題の意図は、都市的な文脈を分析し街路空間などの公共性のある空間と個々の建築空間とで構成される街の風景について考える力を身につけるとともに、中規模以上の建築のスタディの仕方を学ぶことにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

公共性のある建築を設計する際には、住宅規模の設計とは異なり、より広い視点から与えられた条件を整理して設計に取り組むことが求められる。この課題では条件の整理の仕方と、そこから導かれた建築の仕組みを建築化するスタディを重ね、地域で長く使い続けることができる、パサージュのある図書館の提案をする。敷地は商業地域周辺。地域の住民や商業施設に訪れた人々が日常的に利用する図書館が求められている。ここで言うパサージュとは『街路』であり『通過点』である。そのパサージュを本を介して公共性溢れた豊かな空間にすることで、敷地周辺を豊かにする図書館を設計してもらいたい。まずは敷地周辺を歩き敷地条件を地理的、歴史的、社会的、環境的など様々な観点から客観的にリサーチ（遠方の場合には「事前課題」にアップされている動画教材やGoogle maps、Google street viewなどを利用しリサーチ）し、その街の都市的な文脈を汲み取り、使い続けられる図書館として建築的な仕組みを考える。その建築的な仕組みをダイアグラム化し、制作条件に基づいてボリュームスタディを重ね、自分が分析した内容をもとに設計を進める。スタディを重ねたそのうちの1案を発展させ魅力溢れる建築としてパサージュのある図書館を提案する。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 敷地：[京都で受講] 三条木屋町周辺（現TIMESの敷地を含むエリア/敷地図はairUマイページ参照）
[東京で受講] 裏原宿（敷地図はairUマイページ参照）
3. 規模：延床面積 1500～2000㎡
4. リサーチ結果と条件整理をふまえ、図書館を設計する。
5. パサージュには本屋とカフェが面するように設計すること（敷地には高低差があるので注意すること）。
6. 必要諸室やその他の条件については、事前課題を参照。
7. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. ダイアグラムおよび平・断面スケッチ
 - b. スタディ模型（S=1/200）
 - c. 模型（S=1/200）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 レクチャー・エスキース

2講時 制作

3講時 制作

4講時 制作

5講時 制作

●2日目

1講時 制作

2講時 制作

3講時 制作

4講時 制作

5講時 ピンナップ講評・まとめ

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
3. 製図およびプレゼンテーションに必要な道具
4. 模型制作に必要な道具と材料
5. デジタルカメラ

●コース貸出

1. カッティングマット（A2サイズ）
2. スプレーのり・ヒートカッター
3. プリンタ・ノートPC（プリント専用）

●コース支給

1. ケント紙（A2）2枚

S	環境デザイン[建築]V-5 寸法2	科目コード： 72077
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1（建築）」、「環境デザイン演習[建築] II-1」をスクーリング申込までに合格済みであること。（課題提出締切日は『学習ガイド』p.53参照） 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] V-5(351T 寸法2) 開催日程：2019年5月18日（土）～ 2019年5月19日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-5(352K 寸法2) 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-5(353T 寸法2) 開催日程：2020年2月8日（土）～ 2020年2月9日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-5(354K 寸法2) 開催日程：2020年2月22日（土）～ 2020年2月23日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25	
担当者	（京都）伊藤立平、萬野光雄、（東京）中田千彦、實神尚史、望月公紀*	

科目概要と到達目標

公共性のある建築を題材に、建築計画について学ぶ。
ここでは、公共空間にふさわしい寸法体系に着目して、美術館を計画する。
事例分析や実測調査を通して、集団のスケールと個人の寸法との関係を学び、人の集まりや展示計画にふさわしい空間スケールをもった美術館の計画を目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（展示） 『デジタル教科書「建築学習memo」』
参考文献・URL	『GA Contemporary Architecture 01 MUSEUM 1』A.D.A.EDITA Tokyo 『GA Contemporary Architecture 02 MUSEUM 2』A.D.A.EDITA Tokyo 『ムンダネウム』ル・コルビュジエ、ポール・オトレ著 筑摩書房 『コルビュジエさんのつくりたかった美術館』五十川藍子著編 Echelle-1 『都市と建築のパブリックスペース』ヘルマン・ヘルツベルハー著 森島清太訳 鹿島出版会 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

課題

●課題名

「となりの美術館」

●内容〔京都で受講〕

この課題の意図は、美術館の分析および設計を通じて公共空間と個人の寸法や距離感を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

京都・北山通付近には、京都府立植物園を中心とする豊かな自然のある閑静な環境が広がるとともに、磯崎新の京都コンサートホールをはじめとする質の良い文化・教育施設や安藤忠雄、高松伸といった建築家による商業施設が点在し、京都市の文化情報発信の1つの拠点が形成されている。この課題では、京都コンサートホールのとなりに新たに美術館機能をもつ施設の計画を行う。北山駅近辺には植物園、京都府立京都学・歴彩館、京都コンサートホール、そして京都府立陶板名画の庭といった公共施設が軒を連ねるものの、それらは個別に計画され施設同士のつながりや複合的な施設活用は見られない。こうした状況に対し、この美術館を介して新たな人と情報の流れをデザインすることを試みる。ここで設計する美術館は立体物を中心に制作活動している現代美術作家の作品を展示する施設である。展示する作品の寸法をきちんと押さえた上で、美しく展示できる空間を提案する。また、単に展示施設を考えるだけではなく、美術館と駅との間のスペースを利用することも重要である。美術館に人をどう誘導するのか考えながら外構計画をし、北山エリアの新たな顔となるような魅力ある美術館を設計する。

●制作条件〔京都で受講〕

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 展示する作家と作品を選ぶ。作品は3点以上。
千住博、椿昇、宮島達男、ヤノベケンジ、名和晃平等の立体を中心に制作活動をしている現代美術作家の作品を調査する。
3. 規模：屋内空間は300～500㎡程度。
4. 受付+スタッフルーム、トイレ、機械室を用意する。
5. コン서트ホールをはじめ、周辺に存在する施設とのつながりを意識してアプローチなど外部空間もデザインする。
6. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート、配置図（S=1/100～1/200）※周辺環境と建物や外構計画も示す。
 - b. 平面図、断面図（S=1/100）※京都コンサートホール、京都府立総合資料館との関係を示す。
 - c. 模型（S=1/50～1/100）

d. 模型写真

●内容〔東京で受講〕

この課題の意図は、美術館の分析および設計を通じて公共空間と個人の寸法や距離感を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

日本には名建築と呼ばれる美術館がいくつもある。その代表とも言えるのが、ル・コルビュジエの国立西洋美術館であろう。近代建築の巨匠コルビュジエと言えども実現した美術館は数少なく、そのうちの貴重な1つが東京上野にある。この課題では、巨匠コルビュジエの設計した国立西洋美術館のとなりに美術館別館を設計する。

現在うまく使われていない、美術館とJR上野駅公園口との間のスペースを使って美術館と駅とをつなぐとともに、新たな文化発信の拠点となるような美術館を計画する。西洋美術館はその名の通り、西洋美術の紹介に力を注ぐ美術館であり、新たに設計する別館では立体物を中心に制作活動している現代美術作家の作品を展示する施設となる。展示する作品の寸法をきちんと押さえた上で、美しく展示できる空間を提案すること。また、単に展示施設を考えるだけではなく、美術館と駅との間のスペースを利用する事も重要である。美術館に人をどう誘導するのか考えながら外構計画をし、JR上野駅公園口の新たな顔となるような魅力ある美術館を設計する。

●制作条件〔東京で受講〕

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 展示する作家と作品を選ぶ。作品は3点以上。

アニッシュ・カプーア、アントニー・ゴームリー、ゲルダ・シュタイナー&ユルグ・エッティスヴィル、エルネスト・ネット、ロン・ミュエク等の立体を中心に制作活動をしている現代美術作家の作品を調査する。

3. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート、配置図 ($S=1/100\sim1/200$) ※周辺環境と建物や外構計画も示す。
 - b. 平面図、断面図 ($S=1/100$) ※国立西洋美術館との関係を示す。
 - c. 模型 ($S=1/50\sim1/100$)
 - d. 模型写真

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 事前課題発表
- 2講時 制作・エスキース
- 3講時 制作・エスキース
- 4講時 制作・エスキース
- 5講時 制作・エスキース

●2日目

- 1講時 制作
- 2講時 制作
- 3講時 制作
- 4講時 制作
- 5講時 ピンナップ講評

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
3. 製図およびプレゼンテーションに必要な道具
4. 模型制作に必要な道具と材料
5. デジタルカメラ

●コース貸出

1. カッティングマット（A2サイズ）
2. スプレーのり・ヒートカッター
3. プリンタ・ノートPC（プリント専用）

●コース支給

1. ケント紙（A2）2枚

注意事項

京都・東京で課題内容が異なりますので、スクーリング受講場所に合わせて課題内容を選択してください。

S	環境デザイン[建築]V-6 架構 科目コード： 72078
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1（建築）」、「環境デザイン演習[建築] II-1」をスクーリング申込までに合格済みであること。（課題提出締切日は『学習ガイド』p.53参照） 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [建築] V-6(361K 架構) 開催日程：2019年7月20日（土）～ 2019年7月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-6(362T 架構) 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-6(363T 架構) 開催日程：2020年1月25日（土）～ 2020年1月26日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25 環境デザイン [建築] V-6(364K 架構) 開催日程：2020年2月1日（土）～ 2020年2月2日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25
担当者	（京都） 門藤芳樹、（東京）村田龍馬、 望月公紀*

科目概要と到達目標

公共性のある大規模空間を題材に、建築設計課題に取り組む。
ここでは、空間を支える架構に着目して公共空間の設計に取り組む。
意匠設計と構造設計を同時に考え、ひとつのデザインにまとめあげる手法の習得を目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返り、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』 『デジタル教科書「建築学習memo」』
参考文献・URL	『図説テキスト建築構造―構造システムを理解する―』建築構造システム研究会編 彰国社 デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/ 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

課題

●課題名

「大きな屋根のある小さな町の駅」

●内容

この課題の意図は、空間を支える大架構に着目して公共空間の設計に取り組み、意匠設計と構造設計を同時に考える力を身につけることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

場所は内陸部の山間にある小さな駅。ローカル線が1時間に2〜3本停車する程度である。風情のある駅舎であったが、天災に見舞われ老朽化したホームの屋根が倒壊してしまったことを機に新設することになった。

冬の厳しさに耐え、強く美しい構造システムを持った頑強な駅を提案して欲しいが、それだけではなく人々をひきつけ、人々を癒すような小さな町の顔となるような駅を提案して欲しい。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. スタディ模型 (S=1/200)
3. 簡単な構造計算
4. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. S=1/50〜1/100の架構模型
 - b. S=1/200の周辺を含む意匠模型

授業計画

●自宅学習

1〜5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 事前課題発表
- 2講時 レクチャー
- 3講時 制作・エスキース
- 4講時 制作・エスキース
- 5講時 制作・エスキース

●2日目

- 1講時 制作
- 2講時 制作
- 3講時 制作

受講にあたって

●持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題
2. A4セクションパッド（方眼紙5mm程度）
3. 製図およびプレゼンテーションに必要な道具
4. 模型制作に必要な道具と材料
5. デジタルカメラ

●コース貸出

1. カッティングマット（A2サイズ）
2. スプレーのり・ヒートカッター
3. プリンタ・ノートPC（プリント専用）

●コース支給

1. ケント紙（A2）2枚

S	卒業制作（建築デザイン） ディプロマ 科目コード： 72091
配当年次	4年次～
単位数	6
履修の前提条件	「卒業制作1、2」：卒業制作着手仮要件の許可を受けていること。 「卒業制作3～6」：「卒業制作1,2」を合格済みであり、かつ申込までに卒業制作着手本要件を充足していること。 ※「卒業制作1,2」を受講済みであっても「卒業制作3-6」申し込みの時点で卒業制作着手本要件を満たせない場合は「卒業制作3-6」へ進むことはできず「卒業制作1、2」についても次年度以降に再度受講となります。 ※受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※事前課題は「スクーリング・研究経過報告」から閲覧・ダウンロードしてください。
開講日程・ 開講地・定員	卒業制作1 411K ディプロマ(計画) 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作1 412T ディプロマ(計画) 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作2 421T ディプロマ(展開1) 開催日程：2019年8月31日（土）～ 2019年9月1日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作2 422K ディプロマ(展開1) 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作3 431K ディプロマ(展開2) 開催日程：2019年10月19日（土）～ 2019年10月20日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作3 432T ディプロマ(展開2) 開催日程：2019年11月2日（土）～ 2019年11月3日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作4 441K ディプロマ(展開3) 開催日程：2019年11月23日（土）～ 2019年11月24日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作4 442T ディプロマ(展開3) 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作5 451K ディプロマ(表現) 開催日程：2019年12月21日（土）～ 2019年12月22日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし

開講日程・ 開講地・定員	卒業制作5 452T ディプロマ(表現) 開催日程：2020年1月11日（土）～ 2020年1月12日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし
	卒業制作6 461K ディプロマ(発表) 開催日程：2020年1月25日（土）～ 2020年1月26日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし
	卒業制作6 462T ディプロマ(発表) 開催日程：2020年1月25日（土）～ 2020年1月26日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし
担当者	小杉宰子・岸川謙介・望月公紀 他

科目概要と到達目標

大学生生活の集大成および学習の総まとめとして、公共性の高い建築の設計を行う。建築家として社会に提案する姿勢を持って、コンセプト・空間・機能・構造等を総合的に構想し、完成度の高い作品にまとめることを目指す。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み
 2. 課題主旨の理解度
 3. 発想力
 4. 具現化する力
 5. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準で総合的に評価

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。
また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、スクーリングで未完成の作品を完成させ、授業の復習をするよう努力しましょう。取り組む際には学んだことを十分に活かし、次のステップへ向けた準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』 『デジタル教科書「建築学習memo」』（建築キーワード）（建築の設計過程） https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
参考文献・URL	建築デザインコースサイト http://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ airUキャンパス>アーカイブ>卒業制作・研究 作品・論文集 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/archive/ 『卒業設計日本一決定戦OFFICIAL BOOK せんだいデザインリーグ』建築資料研究社 『近代建築』別冊 全国大学建築系学科卒業設計優秀作品集 近代建築社

参考文献・URL	『卒業設計で考えたこと。そしていま』・『卒業設計で考えたこと。そしていま2』五十嵐太郎著 彰国社 『卒業設計コンセプトメイキング』松本裕著 学芸出版社 『建築系学生のための卒業設計の進め方』日本建築学会 井上書院 『設計に活かす建築計画』内藤和彦・橋本雅好・日色真帆・藤田大輔編著学芸出版社 『近代建築』別冊 全国大学建築系学科卒業設計優秀作品集 近代建築社 各大学の卒業設計・卒業制作コンクールのサイトなど 『GA Contemporary Architecture』シリーズ A.D.A EDITA Tokyo http://www.ga-ada.co.jp/japanese/ga_ca/ 『PLOT』シリーズ A.D.A EDITA Tokyo http://www.ga-ada.co.jp/japanese/ga_plot/ 雑誌『El Croquis』 El Croquis http://www.elcroquis.es/ 『RePUBLIC 公共空間のリノベーション』馬場 正尊 著 学芸出版社 『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』馬場 正尊編著 学芸出版社 『エリアリノベーション:変化の構造とローカライズ』馬場 正尊編著 学芸出版社 『CREATIVE LOCAL:エリアリノベーション海外編』馬場 正尊編著 学芸出版社 『シェアをデザインする: 変わるコミュニティ、ビジネス、クリエイションの現場』猪熊 純、成瀬 友梨編著 学芸出版社 『*シェア空間の設計手法』*猪熊純・成瀬友梨 責任編集 学芸出版社 デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
----------	---

課題

「卒業制作1／ディプロマ（計画）」

●課題名

「デザイン・スタジオ」

●内容

さあ、いよいよ卒業制作です。大学の学びの集大成として取り組んでいきます。これまでの与えられた課題では物足りなかった皆さんの多様な想いを注ぎ込み、テーマも敷地も自由に決め、建築という視点で解いてそれを表現してください。でも、これはゼロからのスタートを意味するものではありません。3学年分の課題制作を振り返ってみて共通して考えていたことを発見したり、課題として取り組んだことに興味を持ちそれを発展させて完成度を高めたいと思うこともあるでしょう。それらを卒業制作として再構築し、徹底的に考えてまとめることも意義深いことです。いずれにせよ、最終的に、ある程度普遍的な社会へのメッセージが作品に込められていることが評価の対象となります。

卒業制作は、スクーリング6単位分とテキスト演習科目4単位分の計10単位分がセットになっています。卒業制作スクーリングは「ディプロマ（計画）」「ディプロマ（展開）1・2・3」「ディプロマ（表現）」「ディプロマ（発表）」の計6回で構成され、その途中で提出する「環境デザイン演習[建築] IV」第1課題の「テーマ審査」を経て、全スクーリング終了後に「環境デザイン演習[建築] IV」第2課題として、最終成果物を提出します。

今回の「デザイン・スタジオ」では自らの卒業制作をどのように企画するのかを考えます。具体的にはテーマ・敷地・プログラム・規模・コンセプトをまとめて卒業制作の骨格をつくることを目標としています。言うなれば、建築を設計するための課題文をつくると考えると良いでしょう。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
(事前課題は卒業制作着手、仮着手者のみ閲覧可)
2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート・タイトル・テーマ・コンセプト・プログラム兼面積表
 - b. 敷地図S=1:200
 - c. ボリューム模型

「卒業制作2／ディプロマ（展開）1」

●課題名

「ゼミ・スタジオ 1」

●内容

ディプロマ（計画）「デザイン・スタジオ」でまとめたコンセプトシートをもとに、敷地図の準備と敷地のリサーチを行うと同時に、事例を用いて一通り設計し、図面とボリューム模型に定着させる。一度カタチにしてみることで、建築の規模感を把握し、空間の可能性を発見するためのたたき台の作成を目指す。この段階では、建築に独自のアイデアを盛り込むことに注力するよりも、常識的に設計してみることによって、各プロジェクトの可能性を発見することが中心となる。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート（ディプロマ（計画）のシートをブラッシュアップ）
 - b. 位置図・敷地リサーチマッピング
 - c. 配置図・各階平面図・断面図
 - d. ボリューム模型

「卒業制作3／ディプロマ（展開）2」

●課題名

「ゼミ・スタジオ 2」

●内容

中間審査を行う。ディプロマ（展開1）「ゼミ・スタジオ 1」の成果を「環境デザイン演習[建築]IV」第1課題の「テーマ審査」にて発展的にまとめたが、それらを踏まえて、卒業制作を継続するために必要な作業量を十分に行っているかを確認する。また、他学生の取り組みを共有することで、自身の作品へのフィードバックを行う。コンセプトシートのこたえとして、建築のしくみの提案と魅力ある空間の可能性が図面と模型、スケッチパース等で定着されている状態を目指す。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート
 - b. 図面や模型写真など「環境デザイン演習[建築]IV-1」の最終成果物以上の内容を盛り込んだプレゼンテーションシート
 - c. 模型

「卒業制作4／ディプロマ（展開）3」

●課題名

「ゼミ・スタジオ 3」

●内容

ディプロマ（展開2）「ゼミ・スタジオ 2」で決めた内容を、魅力ある空間を目指してスケールアップしながらスタディを重ねデザインを確定する。ディプロマ（表現）「プレゼンテーション・スタジオ」に向けて、準備すべき素材（図面や模型、パースなど）の内容やスケールを決定する。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. コンセプトシート
 - b. 図面や模型写真など、計画の全貌がわかるプレゼンテーションシート。
 - c. 模型
3. 終了後、以下の期日までに「ディプロマレポート」（＊）を提出する。
441K：12月3日（月）13：00 442T：12月10日（月）13：00
（＊）airUマイページ＞カリキュラム一覧＞卒業制作＞研究記録（オレンジのアイコン）

「卒業制作5／ディプロマ（表現）」

●課題名

「プレゼンテーション・スタジオ」

●内容

ディプロマ（発表）「ファイナルプレゼンテーション」での発表と卒業制作展への出展を想定して、作品の表現方法をスタディする。確定した設計をコンセプトに沿って伝えるための表現を模索する過程で、自作を客観視し、場合によってデザインへのフィードバックを行う。また、完成模型の撮影アングル確定しプレゼンテーションに備える。

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
2. 以下の最終成果物を想定して事前に準備するものを考える。
 - a. A1サイズ（横使い）×4枚（A3サイズでプリントアウトしたものを貼り合わせ）
 - b. 模型の撮影アングルの確認

「卒業制作6／ディプロマ（発表）」

●課題名

「ファイナルプレゼンテーション」

●内容

卒業制作の最終発表会。これまでの成果を教員と学生の前で発表して講評と評価を受ける。万全の準備をしてプレゼンテーションに挑み、戦略的に自身のプロジェクトを世に問うて、建築家として羽ばたく第一歩とする。また、ここでの講評を、最終提出物「環境デザイン演習IV-2」をまとめる際に反映させる

●制作条件

1. airUマイページを参照し、事前課題に取り組む。
 2. ファイナルプレゼンテーションにふさわしい服装で臨む。
- ※他の学生の発表時にはそのプレゼンテーションを聴講するため制作作業は不可。

授業計画

「卒業制作1／ディプロマ（計画）」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 課題説明・事前課題の発表

3～5講時 エスキースチェック・制作

●2日目

1～5講時 エスキースチェック・制作

「卒業制作2／ディプロマ（展開1）」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 エスキースチェック・制作

●2日目

1～5講時 エスキースチェック・制作・講評

「卒業制作3／ディプロマ（展開2）」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 中間審査

●2日目

1～5講時 中間審査・エスキースチェック・制作

※受講者数に応じて中間審査の時間は前後します。

「卒業制作4／ディプロマ（展開3）」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 エスキースチェック・制作

●2日目

1～5講時 エスキースチェック・制作・講評

「卒業制作5／ディプロマ（表現）」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 パネルレイアウト貼り出し・エスキースチェック・制作

●2日目

1～5講時 エスキースチェック・制作

「卒業制作6／ディプロマ（発表）」

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 発表準備／発表

●2日目

1～5講時 発表／総評

※受講者数に応じて発表の時間は前後します。

受講にあたって

●持参物

「卒業制作1～5／ディプロマ（計画、展開1～3、表現）」共通の持参物

●各自必ず持参 1. 事前課題

2. 学内LAN利用アカウント *1) 参照

3. airUアカウント *1) 参照

4. 図面を描く道具 [必要とするものを各自持参]

5. 模型などを制作する道具・模型材料 [必要とするものを各自持参]

6. デジタルカメラ

7. ノートパソコン *2) 参照

8. 電源用延長コード *3) 参照

●コース貸出

1. カッティングマット (A2サイズ)

2. スプレーのり

3. ヒートカッター

4. プリンタ・ノートPC (プリンタ専用)

*1) 持参したノート型パソコンを学内無線LANに接続する際に必要。学内LAN接続については『学習ガイド』p. 95参照。

*2) 普段と同じ環境で制作できるよう持参することが望ましい。

*3) 教室内のコンセントには限りがあるためノートパソコン持参の際は必要。

「卒業制作6／ディプロマ（発表）」の持参物

●各自必ず持参

1. 事前課題

2. 完成模型 *1) 参照

3. 学内LAN利用アカウント *2) 参照

4. airUアカウント *2) 参照

5. デザイン科WEB卒業制作展アカウント通知書 *3) 参照

6. ノートパソコン *4) 参照

7. 電源用延長コード *5) 参照

- *1) 大学が指定する日に限り事前送付・持ち込みを受け付けます。詳細はairUマイページ＞卒業制作＞着手者へのお知らせ欄にて1月中旬に対象者のみなさんにお知らせします。
- *2) 持参したノート型パソコンを学内無線LANに接続する際に必要。学内LAN接続については『学習ガイド』p. 95参照。
- *3) ウェブポートフォリオの閲覧・編集に必要。12月中に研究室より配付。
- *4) 普段と同じ環境で制作できるよう持参することが望ましい。
- *5) 教室内のコンセントには限りがあるためノートパソコン持参の際は必要。

注意事項

●スクーリング受講申込み

「卒業制作1,2」は春期（4,5,6月）申込にて「卒業制作3-6」は秋期（10,11,12月開講）スクーリング申込にてそれぞれ一括で申し込みとなります。同じ申込期に4つまとめた申込みですが、各回ごとに受講会場は選択できます。

●スクーリング取消について

卒業制作スクーリング受講許可後にテキスト科目「環境デザイン演習〔建築〕III-1、III-2」の添削結果やスクーリング科目「環境デザイン〔建築〕V-1～6」「卒業制作1,2」の受講結果等の事情により、本年度の卒業制作の単位修得が不可となった場合は各自で以降のスクーリングのキャンセル手続きを行ってください。

TW	デザイン基礎1（建築） 作図基礎	科目コード： 72601
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。	
単位修得試験	無	
担当者	小杉宰子*、鈴木丈晴、松田安代、山田信博、佐野真理、松本和也、本瀬あゆみ、古市淑乃、芦田奈緒	

科目概要と到達目標

建築設計の基礎の基礎を学ぶ。

ここでは設計する際に必要となる感覚や知識に着目し建築計画にかかわる幾何学や作図、図法、描画、設計製図に関する基礎知識を習得する。

建築設計に必要な技法の基礎領域を理解し、設計課題へ取り組む準備を整えることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『図形ドリル』、『建築ドリル』、『建築・設計・製図』 『第3版コンパクト建築設計資料集成』（section1「建築の表現」）
参考文献・URL	『名作住宅で学ぶ建築製図』藤木庸介編著 学芸出版社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ 【映像教材】airUマイページ＞「環境デザイン〔建築〕II-2」＞事前課題＞映像教材「図面の概念を知る」

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：クリアファイル 1冊（【提出作品】を参照） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手貼付）
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

●課題名

「ドリル教材に学ぶ」

●内容

この課題の意図は、建築における基礎技法の習得にある。

ドリル教材を通じて、描画をはじめ図学や製図までを学習する。各ページの指示に従い教材に取り組み、その成果を美しく丁寧にまとめて仕上げる。あわせて参考例などを参照しながら自ら理解を深めることを心掛ける。

TW	デザイン基礎2（建築） 立体構成と模型	科目コード： 72602
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出時の場合は初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	鈴木丈晴、松田安代、山田信博、佐野真理、松本和也、本瀬あゆみ、古市淑乃、芦田奈緒、小杉宰子*	

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

ここでは建築を学ぶにあたって求められる基礎的な立体感覚に着目し、建築空間の分析を通して、立体造形のバランスや美しさについて学ぶ。

建築設計の基礎手法を体得し、その基本理念に触れることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『建築・設計・製図』 『第3版コンパクト建築設計資料集成』、 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコースサイト＞建築学習memo）
参考文献・URL	『建築のしくみ 住吉の長屋/サヴォア邸/ファンズワース邸/白の家』安藤 直見 柴田 晃宏 比護 結子 丸善 『住吉の長屋/安藤忠雄（ヘヴンリーハウス-20 世紀名作住宅をめぐる旅 3）』千葉学 東京書籍 『安藤忠雄のディテールー原図集 六甲の集合住宅・住吉の長屋』安藤忠雄 彰国社

参考文献・URL	建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
----------	---

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1、作品：【提出作品】を参照。 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「巨匠模型」

●内容

この課題の意図は、立体造形の力を養うことにある。名建築の図面を読み解き、スケールや部材の取り付けなどに注意しながら建築模型として完成させる。その際、道具や材料の扱いなどの模型作成に関わる基本技術を習得し、立体造形として美しく模型を完成させることを目標とする。ここでは、「住吉の長屋」を題材に、スケール 1/50 の模型を製作し、模型写真で表現する。あわせて「住吉の長屋」について参考文献等で調べ、調べた内容をまとめる。

TW	環境デザイン基礎1（建築） 住宅設計2	科目コード： 72603
配当年次	2年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「デザイン基礎1・2（建築）」、「環境デザイン演習〔建築〕I-1・2」を合格済みであること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出時の場合は初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	小杉宰子*、岡田雅人、藤田慶、村川美紀、野上恵子、高濱史子、菓子麻奈美、北川文太 他	

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に建築設計課題に取り組む。

ここでは立体的な空間構成に着目して、豊かな住空間を構想する。

平面計画に強く拘束されることのない自由な発想を発見するための課題に取り組み、立体的な空間構成の設計手法について理解を深めることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『コンパクト建築設計資料集成』 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス>建築デザインコースサイト>建築学習memo）
参考文献・URL	建築デザインコースサイト http://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

初回提出物 (一括送付)	1、作品 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「構成・7層をもつワンルームの家」

●内容

この課題の意図は、空間を設計するにあたり、平面上の計画にとらわれ過ぎず、立体的なアイデアを用いて計画をするための力を養うことにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて制作を行う。狭小の住宅では、決められたボリュームの中に多層を入れて設計することで、空間に広がりを感じられたり、家族の間で程よい距離感を持つことができる。この課題では、芯々で7m×7m×高さ10mのボリューム内部に、7層の異なるレベルのフロアをもつワンルームの住宅を想定する。立体構成に特徴のある小規模住宅について事例研究を行うとともに、その分析を活かして必要諸室が立体的に繋がった住宅を設計する。

TW	環境デザイン基礎2（建築） 一般構造	科目コード： 72604
配当年次	2年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「デザイン基礎1・2（建築）」、「環境デザイン演習〔建築〕I-1・2」を合格済みであること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。	
単位修得試験	無	
担当者	藤田慶、岡田雅人、村川美紀、野上恵子、高濱史子、菓子麻奈美、北川文太、岸川謙介* 他	

科目概要と到達目標

名作建築を題材に、建築一般構造に関する基本事項を学ぶ。
木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造などの各種建築構法について、屋根・床・壁・天井などのおさまりや構造計画を行うのに必要な基本的事項を習得することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『はじめての建築一般構造』 『建築・設計・製図（住吉の長屋・屋久島の家・東大阪の家に学ぶ）』 『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコースサイト＞建築学習memo）
参考文献・URL	『WA-HOUSE 横内敏人の住宅』横内敏人著 風土社 『BLUEPRINTS 横内敏人の住宅設計図面集』横内敏人著 風土社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/

初回提出物 (一括送付)	1、作品：【提出作品】を参照。 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「名建築に倣う2」

●内容

この課題の意図は、建築構法に関する知識を習得するとともに、建築家の思考がどのような空間構成を生み出し、それがどのように美しい図面として凝縮されているかを体感することにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて制作を行う。

建築家横内敏人の設計図面を実例に、建築構法と住空間を構成する寸法について学ぶ。住宅の矩計図をトレースし、その架構模型を制作することで、構法に関する知識を深めるとともに、作品の調査・分析を通して設計理念や手法についての理解を深める。建築家の思考が凝縮された緊張感ある図面と向き合い、美しい図面と空間構成の関係について考える。建築家 横内敏人設計の「若王子のアトリエ」の図面を手描きでトレースする。トレースするにあたり、それらの美しい図面を凝視し、構法の特徴を最大限に活かしながら構成された空間と研ぎ澄まされた寸法について学ぶ。また、トレースを通じて学んだ空間構成を架構模型として立体的に把握し、実際にその魅力を確認する。また、3つの構法（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造）の一般的な概要について自ら調べた上で、「若王子のアトリエ」（木造）と教科書『建築・設計・製図』にある3つの住宅作品「住吉の長屋」（鉄筋コンクリート造）、「屋久島の家」（木造）および「東大阪の家」（鉄骨造）を事例として活用し、その特徴や魅力をそれぞれの構法の概要とあわせて「建築構法シート」としてそれぞれA4用紙（横使い）にまとめる。

TW	環境デザイン演習〔建築〕Ⅰ－1 空間特性と表現 科目コード： 72605
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	作品第1課題
課題提出形態	郵送・窓口
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。
単位修得試験	無
担当者	中村紹子、長野良亮、奥野幹、相波幸治、高栄智史、永井孔美子、大森真理子、古川晋也、 岸川謙介*

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

ここでは建築家やその作品の分析・批評に着目し、古今東西の名作建築を題材に、図面から読みとれる建築空間の特徴やその設計思想、歴史的位置付けについて学ぶ。

資料収集の方法、図面等の資料の読解方法、設計理念や設計手法を知ることの重要性への理解を目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『建築史（近代の建築）』 『建築・設計・製図』 『第3版コンパクト建築設計資料集成』
参考文献・URL	『Design Essence from Sketch book ―建築設計のための教科書―』京都大学学術出版会 『建築20世紀PART 1』『建築20世紀PART 2』鈴木博之他著 新建築社

参考文献・URL	『マトリクスで読む20世紀の空間デザイン』矢代真己他著 彰国社 『テキスト 建築の20世紀』本田昌昭、末包伸吾編著 学芸出版社 『現代建築史』ケネス・フランプトン著 中村敏男訳 青土社 『Casa BRUTUS 建築家 ル・コルビュジエの教科書』 マガジンハウス 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/
----------	---

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1、作品：【提出作品】を参照。 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「名建築を語る」

●内容

この課題の意図は、名建築や名建築家を知り、資料を収集してそれを読解・分析することと、それらの情報を各自の視点でまとめ発信する力を養うことにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて制作を行う。

教科書などにも取り上げられる古今東西の名建築や建築家達が、長い年月を経て現代に至るまで今もなお色褪せないのはなぜか。それは時代や地域の違いを超えた普遍的な価値や魅力があるからに他ならない。芸術大学において建築を学ぶわれわれは、そんな名建築に潜む魅力をよく理解し、現代的状況に即したかたちで自分自身の設計デザインに取り込んでいかなければならない。

ここでは、名建築をただ漫然と見るのではなく「読み解く」、つまりそこに潜む普遍的な魅力や価値、思想を見つけ出そうという姿勢で建築や建築家を知ることの大切さを感じて欲しい。そしてその建築の魅力や価値を人に伝えられる力を養うことに取り組むことも、この課題の大きな主題の一つである。

TW	環境デザイン演習〔建築〕Ⅰ－2 トレース 科目コード： 72606
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	作品第1課題
課題提出形態	郵送・窓口
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。
単位修得試験	無
担当者	中村紹子、長野良亮、奥野幹、相波幸治、高栄智史、永井孔美子、大森真理子、古川晋也、 岸川謙介* 他

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

ここでは、美しい建築図面表現に着目し、手描き製図で図面のトレースを行い、建築製図の基礎とその表現方法を身につける。

建築製図の基本とその表現手法を習得することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『建築・設計・製図』住吉の長屋・屋久島の家・東大阪の家に学ぶ 『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（図面製図マニュアル）（airUキャンパス＞ 建築デザインコースサイト＞建築学習memo）
参考文献・URL	『小さな家 - 1923』ル・コルビュジエ著 森田慶一訳 集文社 『a+u Visions of the Real 20世紀のモダン・ハウス：理想の実現I』エー・アンド・ユー 『住宅巡礼』中村好文著 新潮社 『ル・コルビュジエ 図面集 vol.2』建築資料研究社 『ル・コルビュジエの全住宅』東京大学工学部建築学科安藤忠雄研究室編 TOTO

参考文献・URL	出版 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
----------	---

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1、作品：【提出作品】を参照。 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「名建築に倣う1」

●内容

この課題の意図は、建築製図の基本を理解したうえで、設計理念を図面で表現する手法を再現してみることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて制作を行う。建築家ル・コルビュジエの『小さな家』を題材に図面ドローイングのトレースに取り組む。図面をよく観察し、建築と周辺環境との関係性や空間同士のつながりに着目し、その様子を理解しつつトレースに取り組む。また、トレースした図面をもとにル・コルビュジエの住空間の構成や寸法、敷地との関係性などを読み解き、トレースした図面を用いて「作品紹介記事」を作成する。

TW	環境デザイン演習〔建築〕Ⅱ－1 住宅設計1 科目コード： 72607
配当年次	2年次～
単位数	2
履修の前提条件	「デザイン基礎1・2（建築）」、「環境デザイン演習〔建築〕Ⅰ－1・2」を合格済みであること。
履修方法	作品第1課題
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出時の場合は初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	殿井環、西川博美、塔本研作、濱田慎太、市川竜吾、中永勇司、遠山之寛、谷帆奈美、岸川謙介*

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは、現代の住空間において要求される複合的な機能を読みとけながら平面計画を中心にデザインし、住空間を構成する。

nLDKといった住空間に対する通念をはらい、職住に関するアクティビティのための場所として相応しい住宅の形式を構成する手法を体得することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコースサイト＞建築学習memo）、『第3版コンパクト建築設計資料集成』（居住－独立住宅）
参考文献・URL	『建築ドリル』『建築ドリル』編集委員会 学芸出版社 『建築家は住宅で何を考えているのか』難波和彦他著 PHP研究所 『現代住宅研究』塚本由晴・西沢大良著 INAX出版 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

参考文献・URL	デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
----------	--

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「仕事と庭と部屋」

●内容

この課題の意図は、住宅の形式について改めて考えなおし、現代的な生活環境において要求される複合的な機能を読みとけながらその平面計画を行い、計画した住空間を図面と模型で表現する力を養うことにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて制作を行う。

TW	環境デザイン演習〔建築〕Ⅱ－2 住宅設計3 科目コード： 72608
配当年次	2年次～
単位数	2
履修の前提条件	「デザイン基礎1・2（建築）」、「環境デザイン演習〔建築〕Ⅰ－1・2」を合格済みであること。
履修方法	作品第1課題
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出時の場合は初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	殿井環、西川博美、塔本研作、濱田慎太、市川竜吾、中永勇司、遠山之寛、谷帆奈美、望月公紀*

科目概要と到達目標

小規模建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは立体的な構成手法や感覚を養いながら、集住体を構想する。

単位空間の立体構成からはじめ、部分と全体の関係を意識しながら一群の豊かな住空間として成立させる手法を体得することを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（居住－集合住宅） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコースサイト＞建築学習memo）
参考文献・URL	『JA61 小嶋一浩＋赤松佳珠子/CAt』新建築社 『地域社会圏主義』山本理顕他著 LIXIL出版 『新編 住居論』山本理顕著 平凡社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1、作品 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「集住体を考える」

●内容

集住体はその機能的性格上、構成要素となる基本住戸ユニットをブロックのように積み重ねて構成させることが可能である。

この課題の意図は、一般的な集合住宅のように均質に積み上げて経済合理性を獲得するのではなく、住戸ユニットの配置や積層の方法を工夫することにより各住人のプライバシーを確保しつつも、住人相互のコミュニケーションを誘発する空間的仕掛けを盛り込むことにある。つまり「内外の空間を立体的に構成する力」や「集まって住まうことへの提案を行う力」を養成することにある。

以下の課題文を読み、制作条件に基づいて制作を行う。

TW	環境デザイン演習〔建築〕Ⅲ－1 フィールドスタディ	科目コード： 72609
配当年次	3年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1、2（建築）」「環境デザイン演習〔建築〕Ⅱ－1、2」を合格済みであること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出時の場合は初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	望月公紀*、池井健、岡本一真、田村秀規、門脇哲也、吉原美比古、八木惣一郎、川上聡	

科目概要と到達目標

公共的な建築を題材に設計課題に取り組む。

客観的かつ多角的な視点から、都市の様々な要素、プログラム、そこで展開される人々のアクティビティを観察し、公共空間における人やモノの流れと建築空間のあり方の関係性の分析を行い、その結果に基づいて建築を構想する。

場所の観察・分析の手法を学び、分析を通して建築空間を提案する力を養うことを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『コンパクト建築設計資料集成』（室と場面・図書・都市のオープンスペース）、『デジタル教科書「建築学習memo」』（airUキャンパス＞建築デザインコースサイト＞建築学習memo）
参考文献・URL	『新建築2008年6月臨時増刊 The MARUNOUCHI BOOK』新建築社 『JA71 2008年秋号リサーチの方法』新建築社 『日本の都市空間』都市デザイン研究体著 彰国社 『街並みの美学』芦原義信著 岩波書店 『都市のイメージ』ケヴィン・リンチ著 岩波書店

参考文献・URL	『都市／建築フィールドワーク・メソッド』田島則行＋久野紀光＋納村信之編 INAX出版 『世界のSSD100—都市持続再生のツボ』東京大学cSUR-SSD研究会著 彰国社 『都市と建築のパブリックスペース』ヘルマン ヘルツベルハー著 鹿島出版会 『建築のちから』内藤廣 王国社 『建築設計資料97図書館3』建築資料研究社 『GA Contemporary Architecture 03 LIBRARY』A.D.A.EDITA Tokyo 『建築設計資料91保育園・幼稚園3』建築資料研究社 『建築設計資料106小規模多機能福祉拠点』建築資料研究社 『建築設計資料57地域福祉施設』建築資料研究社 『建築設計資料70コミュニティセンター2』建築資料研究社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
----------	---

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUから提出する場合は【制作条件】を確認し作品データのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUから提出する場合は【制作条件】を確認し作品データのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「地域のコミュニティセンター_敷地の提案」

●内容

この課題の意図は、建築を取りまく都市状況や場所性との関係を理解してその場所に相応しい複合施設の設計に取り組み、考えたことをプレゼンテーションシートにまとめて他者に伝えることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

ここでは、与えられた設計条件から敷地の選定とリサーチ・分析を行い、その結果から その場にあるべきながら不足していると考えられる機能を発見して提案する。その敷地に、提案した機能と託児室・図書室からなる子どもからお年寄りまでが集い、だれもが親しみやすい「人の集まる場所」（複合施設・「地域のコミュニティセンター」）を提案して設計する。

ひとつの建築が周辺環境や風景そして人々の暮らしに影響を与える力があるのだと、建築のもつ力を

信じて考えて欲しい。以下に求められる建築条件を挙げた。その条件をベースに、コミュニティセンター(延床面積2000平米程度、2階建以上、地下不可)を設計する敷地の選定とリサーチおよび分析を行い不足している機能の提案を行う。敷地に秘められた潜在的な魅力をあぶり出し、その力を活用して敷地や周辺環境の客観的状況と一体となったプログラムとコンセプトを考え、より多面的で説得力のある提案を摸索する。

TW	環境デザイン演習〔建築〕Ⅲ－2 複合施設「地域のコミュニティセン ター」設計の提案	科目コード：72610
配当年次	3年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1・2（建築）」「環境デザイン演習〔建築〕Ⅱ－1・2」を合格済みであること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出時の場合は初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	望月公紀*、池井健、岡本一真、田村秀規、門脇哲也、吉原美比古、八木惣一郎、川上聡	

科目概要と到達目標

公共的な建築を題材に設計課題に取り組む。

ここでは、建築を取りまく都市状況や場所性との関係を理解して、複合施設を構想する。

場所の調査・分析を通して得たその場所固有の特徴の理解の上に、各ビルディングタイプの建築計画における一般的な理論をおさえたうえで、公共性と多様性を兼ね備えた建築空間を提案する力を養うことを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
 2. 発想力
 3. 具現化する力
 4. プレゼンテーションの力
- 上記評価基準に基づく総合評価

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デジタル教科書「建築学習memo」』（建築の設計過程）（airUキャンパス＞建築デザインコースサイト＞建築学習memo） 『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現・室と場面・福祉・交流・図書・都市のオープンスペース）
参考文献・URL	『建築のちから』内藤廣 王国社

参考文献・URL	『建築設計資料97図書館3』建築資料研究社 『GA Contemporary Architecture 03 LIBRARY』A.D.A.EDITA Tokyo 『建築設計資料91保育園・幼稚園3』建築資料研究社 『建築設計資料106小規模多機能福祉拠点』建築資料研究社 『建築設計資料57地域福祉施設』建築資料研究社 『建築設計資料70コミュニティセンター2』建築資料研究社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
----------	--

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1、作品 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】確認しデータのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】確認しデータのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞本科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「地域のコミュニティセンター_設計の提案」

●内容

この課題の意図は、建築を取りまく都市状況や場所性との関係を理解して複合施設の設計に取り組み、考えたことを図面や模型にまとめて他者に伝えることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて提案を行う。

敷地は古い木造住宅が密集し、街路樹が多い地域。プログラムは託児室・図書室・子ども食堂からなる子どもからお年寄りまでが集い、だれもが親しみやすい「人の集まる場所」（複合施設・「地域のコミュニティセンター」）を提案して設計する。

経済論理を体現したような建築や都市が再生産され続け、人々が長い時間をかけて育んできた街の特性や公共性が消されようとしている。この課題では建築をとりまく現在の状況に一石を投じる提案を期待したい。ひとつの建築が周辺環境や風景そして人々の暮らしに影響を与える力があるのだと、建築の持つ力を信じて考えて欲しい。

ここでは、諸条件を各自の視点で読み解きながら敷地やこのプログラムにひそむ価値を建築空間として具現化していくスタディを積み重ね、図面化する。そして、図面と模型だけでは伝えきれない空間の雰囲気・特徴やその場所で起こるアクティビティなどをパースや部分模型などを追加することで補い、そ

れらを軸にして考えたことを余すことなく伝えるプレゼンテーションを行う。

TX	環境デザイン演習〔建築〕Ⅳ 卒業制作作品 パネルとウェブポート フォリオ	科目コード： 72611
配当年次	4年次～	
単位数	4	
履修の前提条件	「卒業制作着手本要件」を満たしていること。	
履修方法	作品第1課題（合格後）→作品第2課題	
課題提出形態	第1課題：郵送・窓口、airU／第2課題：郵送・窓口	
課題数	2	
課題提出期間	第1課題 【10/21締切分】10/11～10/21 第2課題 【2/07締切分】02/01～02/07 郵送・窓口での提出は締切日必着。	
単位修得試験	無	
担当者	小杉宰子、岸川謙介、望月公紀	

科目概要と到達目標

卒業制作に取り組む。

卒業制作に相応しいテーマを設定し、プログラムを構築して図面や模型写真などで表現し、作品としてまとめあげる。

自ら身近な問題点等を発見し、その解決を建築空間によって提案することで、社会に対して発信する力を養うことを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準とスクーリング科目（卒業制作）との総合評価

テキストと参考文献・URL

テキスト	『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現） 『デジタル教科書「建築学習memo」』（建築の設計過程）
参考文献・URL	『RePUBLIC 公共空間のリノベーション』馬場 正尊 著 学芸出版社 『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』馬場 正尊編著 学芸出版社 『エリアリノベーション:変化の構造とローカライズ』馬場 正尊編著 学芸出版社 『CREATIVE LOCAL:エリアリノベーション海外編』馬場 正尊編著 学芸出版社 『シェアをデザインする:変わるコミュニティ、ビジネス、クリエイションの現場』猪熊 純, 成瀬 友梨編著 学芸出版社

参考文献・URL	『シェア空間の設計手法』猪熊純・成瀬友梨 責任編集 学芸出版社 『設計に活かす建築計画』内藤和彦・橋本雅好・日色真帆・藤田大輔編著 学芸出版社 『卒業設計日本一決定戦 OFFICIAL BOOKせんだいデザインリーグ』建築資料研究社 『近代建築』別冊全国大学建築系学科卒業設計優秀作品集 近代建築社 『卒業設計で考えたこと。そしていま』・『卒業設計で考えたこと。そしていま2』五十嵐太郎 著 彰国社 『卒業設計コンセプトメイキング』松本裕著 学芸出版社 『ラクラク建築模型マニュアル』エクスナレッジ 『図解建築プレゼンのグラフィックデザイン』坂牛卓・平瀬有人 鹿島出版会 『建築プレゼンの掟』高橋正明編著 彰国社 建築デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ デザイン科Web卒展参考作品 http://t.kyoto-art.ac.jp/archives/?from=air-u.campus
----------	--

第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：【制作条件】に従った体裁とする 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【制作条件】を確認しデータのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	再提出の機会なし

課題の内容

●課題名

「卒業制作テーマ審査」

●内容

大学の学びの集大成として取り組んでいきます。これまでの与えられた課題では物足りなかった皆さんの多様な想いを注ぎ込み、テーマも敷地も自由に決め、建築という視点で解いてそれを表現してください。でも、これはゼロからのスタートを意味するものではありません。3学年分の課題制作を振り返ってみて共通して考えていたことを発見したり、課題として取り組んだことに興味を持ちそれを発展させて完成度を高めたいと思うこともあるでしょう。それらを卒業制作として再構築し、徹底的に考えてまとめることも意義深いことです。いずれにせよ、最終的に、ある程度普遍的な社会へのメッセージが作品に込められていることが評価の対象となります。

第2課題

課題コード : 21

初回提出物
(一括送付)

1. 作品（シラバスの【制作条件】に従った体裁とする。梱包方法等もWeb教材の「提出方法」に従うこと）
2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）
3. 返送用宛名シール（パネル以外の提出物用／返送先明記、重量に応じた料金分の切手を貼付）

初回提出物 (一括送付)	4. 返送用の宅急便伝票（卒業制作展後のパネル返送用／返送先と品名欄にコース名・学籍番号を明記） ※提出方法は「テキスト・教材学習」にあるWeb教材の「提出方法」を参照すること。 ※「4. 宅急便伝票」は12月か1月のスクーリング時に対象者に配付します。
再提出物 (一括送付)	再提出の機会なし

課題の内容

●課題名

「卒業制作作品 パネルとウェブポートフォリオ」

●内容

大学の学びの集大成として取り組んでいきます。これまでの与えられた課題では物足りなかった皆さんの多様な想いを注ぎ込み、テーマも敷地も自由に決め、建築という視点で解いてそれを表現してください。でも、これはゼロからのスタートを意味するものではありません。3学年分の課題制作を振り返ってみて共通して考えていたことを発見したり、課題として取り組んだことに興味を持ちそれを発展させて完成度を高めたいと思うこともあるでしょう。それらを卒業制作として再構築し、徹底的に考えてまとめることも意義深いことです。いずれにせよ、最終的に、ある程度普遍的な社会へのメッセージが作品に込められていることが評価の対象となります。